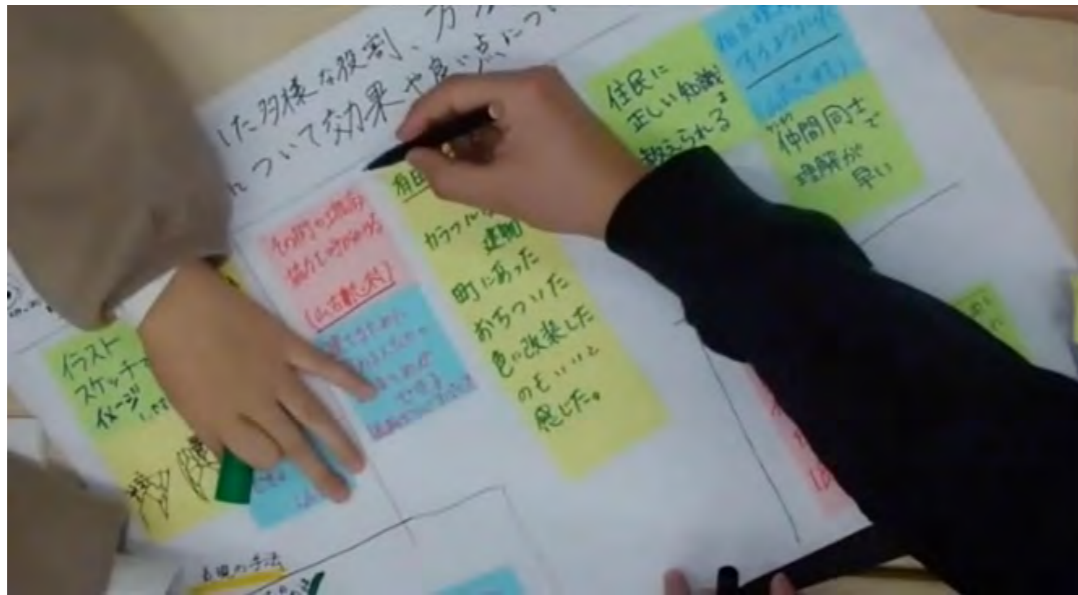


JCAABE まちづくりファシリテーター養成講座実施委員会 「建築系まちづくりファシリテーター養成講座の開発と実践」





多世代を「つなぐ」



日本と世界を「つなぐ」



住民・市民・行政と専門家をつなぐ

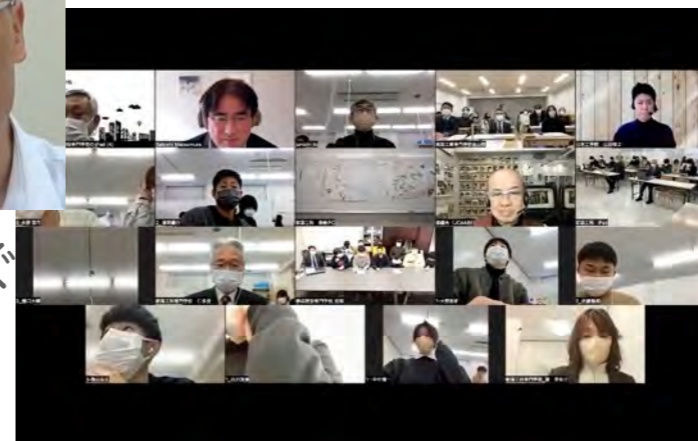
学び直しが未来を「つなぐ」



教育と行政をつなぐ

都市計画と建築、まちづくりをつなぐ

平常時と非常時をつなぐ



学生同士をつなぐ

さまざまな分野をつなぐ

全国各地の教育機関をつなぐ

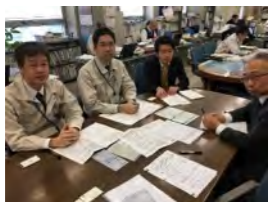


[事業の経過]

*1まちづくりファシリテーター養成講座
事業実施委員会 2019.10-2021.03

*1:令和元年-2年度文部科学省「専修学校による
地域産業中核的人材育成事業としてスタート

調査：2019.11-2020.02



行政:新潟県庁



企業:UR都市機構



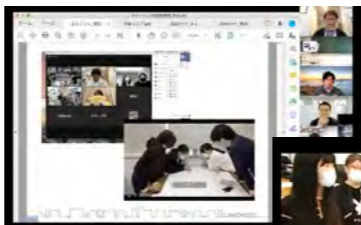
先行事例:ルーテル学院大学



学校:新潟工科専門学校

実践_専門学校 3校 2020-
麻生建築&デザイン専門学校
新潟工科専門学校
日本工学院専門学校

新潟工科専門学校



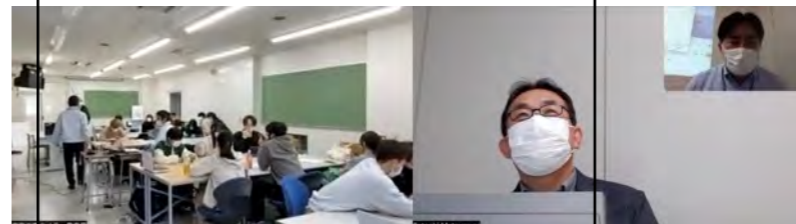
新潟工科専門学校



東海工業専門学校金山校

実践_専門学校 6校 2022-
左記に加えて

- ・修成建設専門学校
- ・東海工業専門学校金山校
- ・静岡産業技術専門学校



読売理工医療福祉専門学校

実践_専門学校 8校 2023-
2大学 (教材使用)

左記に加えて

- ・岡山理科大学専門学校
- ・読売理工医療福祉専門学校
- ・立命館大学
- ・名古屋女子大学



2019

2020

2021

2022

2023

未来へ

教材の開発

シラバス

<p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> まちづくりファシリテーターとしての役割 まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 	<p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 	<p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割 まちづくりファシリテーターの役割
--	---	---

テキスト



運用マニュアル



教科書発刊(2021.09-)



スプリングセミナー 2023.03-



オンライン講座開始
現在受講生8名

サマーセミナー 2023.08-



令和3-4年 文化庁文化遺産国際協力拠点交流事業
カイロ旧市街保存まちづくり/住民参加のまちづくり
本講座をベースにカイロでファシリテーター講座を実践

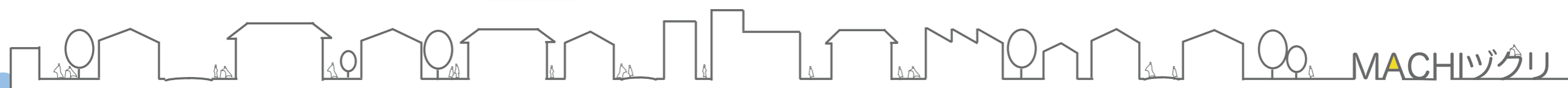
動画教材



広報資料



教材 ((コマシラバスなど)



[まちづくりファシリテーター養成講座事業実施委員会 委員一覧]

※敬称略、委員長、副委員長以外50音順、所属は2020当時

実施委員長	連 健夫	(日本建築まちづくり適正支援機構)
実施副委員長	松村哲志	(日本工学院専門学校)
	阿部俊彦	(立命館大学)
	市古太郎	(東京都立大学)
	今泉清太	(麻生塾麻生建築&デザイン専門学校)
	大倉 宏	(新潟まち遺産の会代表)
	大槻一敬	(大槻企画制作事務所)
	里中勝哉	(パナソニックホームズ株式会社)
	鈴木大介	(大東建託株式会社)
	高橋寿太郎	(創造系不動産)
	田中裕治	(株式会社リライト)
	西川直子	(建築ジャーナル)
	仁多見透	(国際総合学園新潟工科専門学校)
	野澤 康	(工学院大学)
	茨田禎之	(株式会社アットカマタ)
	松本 昭	(チームまちづくり)
	向田良文	(デザインタック株式会社)
	連勇太郎	(特定非営利法人モクチン企画)
	連 洋助	(連ヨウスケアトリエ)
	山田俊之	(日本工学院専門学校)
渡邊研司	(東海大学)	
事務局	北村稔和	(株)家フリマ)



[事前調査 対象概要]

- 事例調査

インターネットで検索による関連キーワードを持つ事例 103件 54事例

- アンケート調査 専修学校16校

浅野工学専門学校、岡山科学技術専門学校、日本工学院八王子専門学校建築学科、新潟工科専門学校、青山製図線学校、読売理工医療専門学校、岡山理科大学専門学校、東京工学院専門学校、麻生建築&デザイン専門学校、中央工学校、中央工学校OSAKA、日本建築専門学校、日本工学院専門学校、サイ・テク・カレッジ美浜、大阪建設専門学校、日本工学院八王子専門学校建築設計科

- ヒアリング調査 企業 8社、 3行政4部署

パナソニックホームズ（株）、旭化成ホームズ（株）、住友林業（株）、三井ホーム（株）、（株）ミサワホーム、積水化学工業（株）、大東建託（株）、UR都市機構

大田区役所都市計画課、防災まちづくり課、新潟県庁、博多区役所

- 先行事例ヒアリング調査

多摩地域ルーテル学院大学主催「地域福祉ファシリテーターの養成
「福祉のまちづくりを協働して推進する人になろう。」

- 教育機関ヒアリング 全国3地域（福岡、新潟、東京） 3校教員

麻生建築&デザイン専門学校、新潟工科専門学校、日本工学院専門学校



□調査結果・考察・まとめ

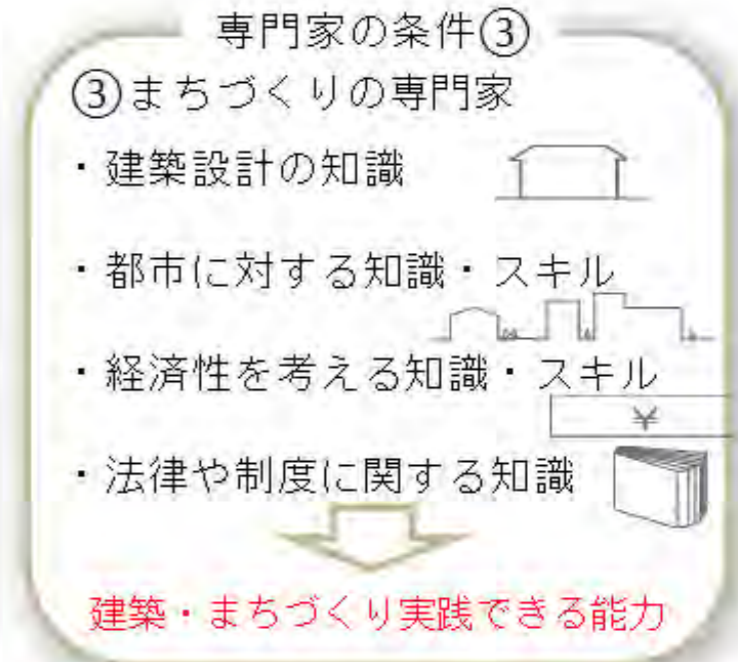
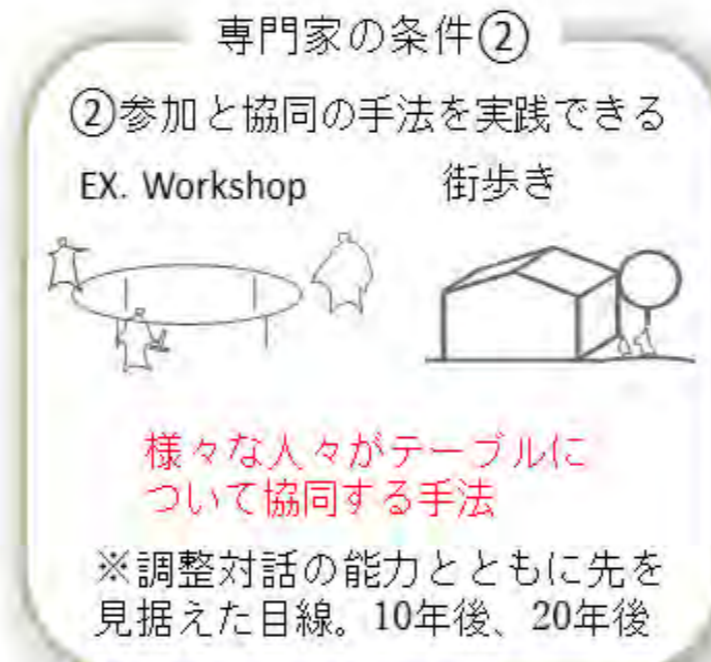
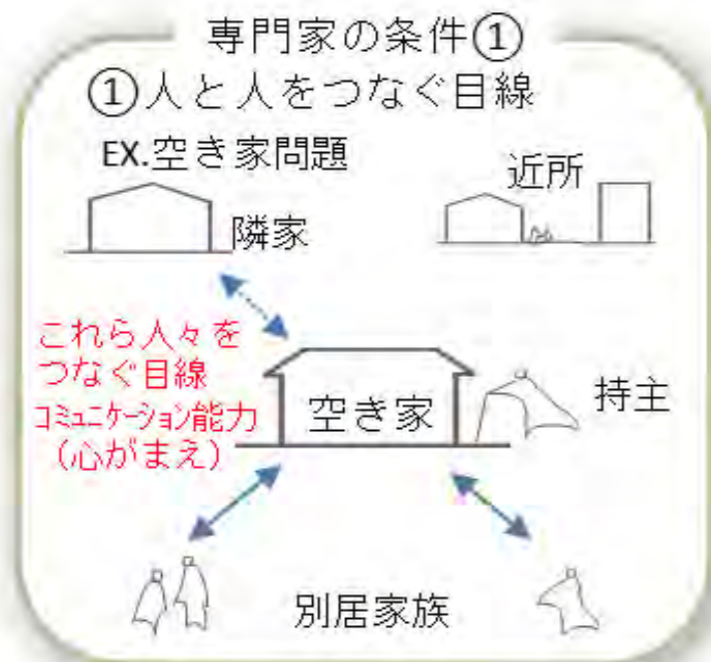
(補足資料 P33-38 日本建築学会第20回建築教育シンポジウム建築教育研究論文報告集 参照)

- まちづくりファシリテーターは行政・企業ともに必要性を感じている。
- 特に住民・市民と専門家をつなぐことのできるコミュニケーション力の育成に必要性を感じた。
- コミュニケーション力育成は住民・市民と協働する態度 (Attitude) の育成が重要である。
- まちづくりファシリテーターという考え方は社会にとって重要であるが新しい考え方であり、それをわかりやすく説明するためのツール、広報などが必要である。
- 多岐にわたる課題を解決するために建物だけではなく資金調達や運営、活性化といったエリアマネジメントなどまちづくりの専門家としての幅広い知識の習得が必要である。
- 教育を実施するにあたり専門家が不足している現状が全国各地域で実施することを妨げている。

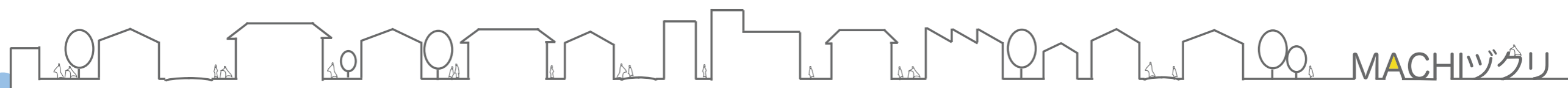


[まちづくりファシリテーター人材育成のイメージ]

*①「人」と「人」をつなぐ目線をもった、*②参加と協同の手法を実践できる、*③まちづくりの専門家が不足している。



まちづくりファシリテーター養成講座→広く人材を育成する流れを作ることが目的



T **T**echnic & **T**heory

T字型人材像：協働を促進する人材像

- 幅広い知識と提案できる専門力
- 提案できるコミュニケーション能力
- 社会福祉分野地域リーダーと繋がり要求に応える建築の専門性を持った人材へ

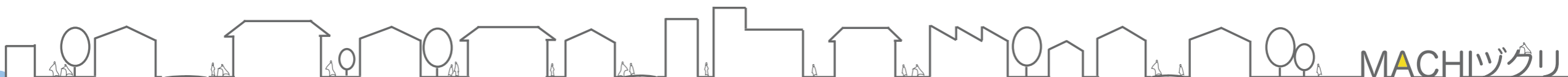
A **A**ttitude：素養（態度＋知識スキル）の育成

- 多様な人と話ができるコミュニケーション力を持った態度
- 「時間・距離・人」に左右されない教育方法

R **R**econgntion：社会認知と考え方のイノベーション

- 学生・社会への認知に向けて
- キャリアストーリーの提示

特に「時間・距離・人」に左右されない学習方法の模索について意識し、オンライン・オンデマンドを用いたハイブリット型の授業運用や動画教材の開発を行った。



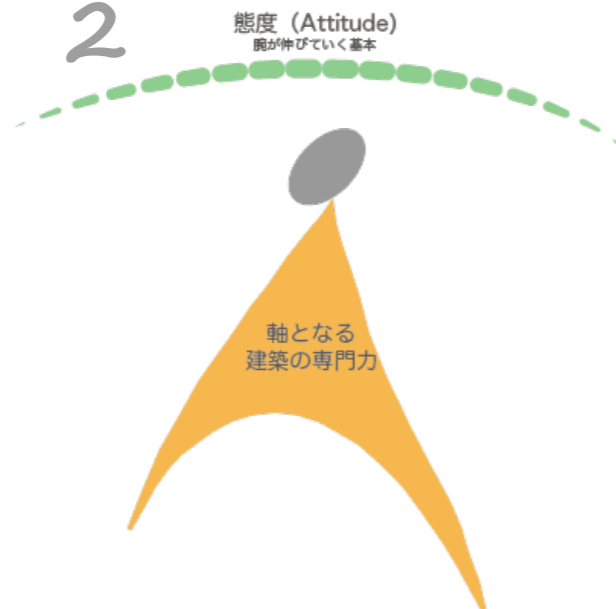
[T字型人材 育成イメージ]

1



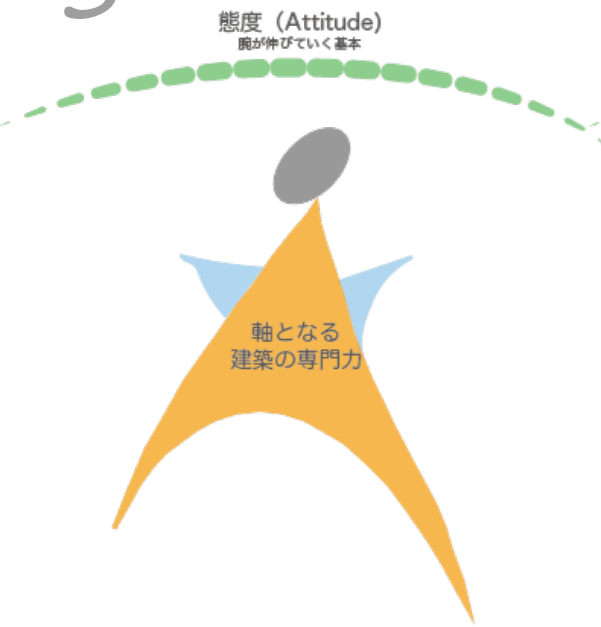
建築系学科対象。軸となる建築の専門力を身につけつつある。

2



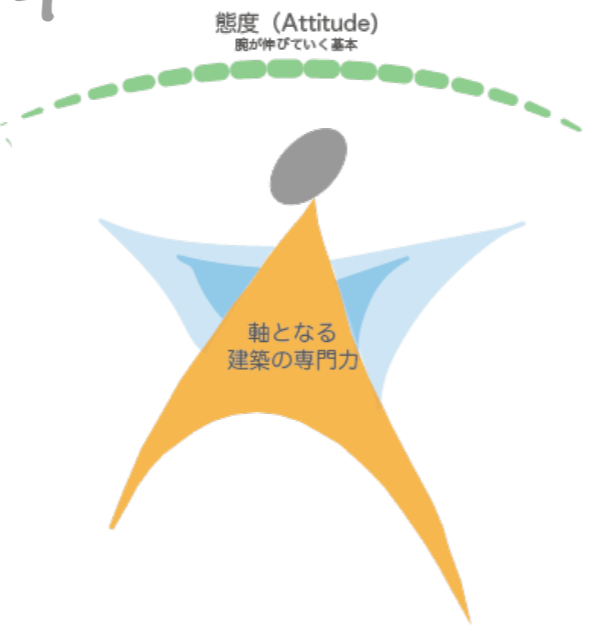
最初に「目的のあるコミュニケーション能力」の態度(Attitude) を身につける。

3

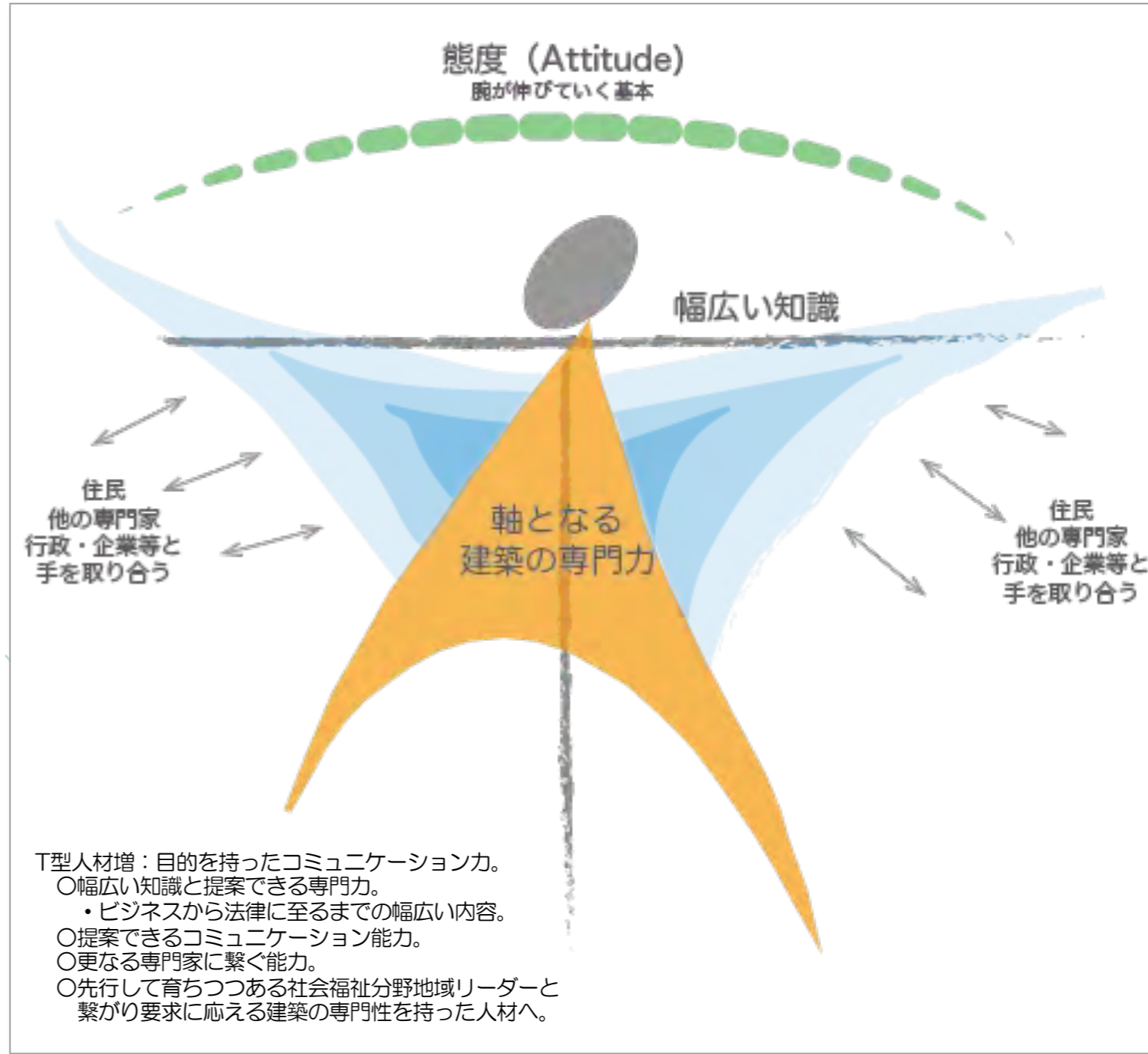


その上で本講座によって行われる幅広い実践を執行することで

4



まるで腕が伸びるように 幅広い知識とコミュニケーション力が身についていき他と繋がることのできるコミュニケーション力を習得する。



[シラバスの全体構成]

■総合

1. まちづくりファシリテーターとは何か
28. まちづくりフィールドワーク①※
29. まちづくりフィールドワーク②※
30. まちづくりフィールドワーク③※

■A：建築・デザイン

12. 建築設計における参加型のデザイン
13. 参加型デザインによる実例見学 ※
14. リノベーションまちづくり概論
15. リノベーション技術・実習 ※
18. インспекション・耐震化・不燃化概論
19. 演習※

■B：都市計画

2. 都市計画における住民参加と
ファシリテーターの役割
3. まちづくりファシリテーター
のコミュニケーション力
4. コミュニケーション技術演習※
8. 地域特性を活かす規制や法律
26. 空き家空き地活用概論
27. 事例見学※

■C：合意形成・ワークショップ

5. まちづくりの手法①
6. まちづくりの手法②
7. ワークショップ演習（KJ法・ラージュ）※

■D：不動産・経営・税金

22. 建築と不動産
23. 演習※
24. 今後の不動産業、宅建士の役割
25. 演習※

■E：修復・防災・エネルギー

9. 事前復興まちづくり
10. 事前復興まちづくり演習※
11. 建築・まちづくり事例講義
16. エネルギーとまちづくり
17. エネルギーとまちづくりの実践※
20. 保存・修復とまちづくり
21. 修復実例見学※

■総合 実際のまちづくり活動等への体験学習（地域の実情で柔軟に設定） ※

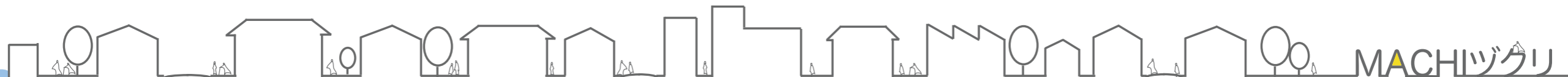


[カリキュラム・シラバス]

まちづくりファシリテーター養成講座カリキュラム・シラバス					
前期	分野・領域	番号	実践	プログラム名	内容・狙い
15 コマ	総合	1		まちづくりファシリテーターとは何か	まちづくりファシリテーターの概要を理解する
	B、都市計画	2		都市計画における住民参加とファシリテーターの役割	都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割
		3		まちづくりファシリテーターのコミュニケーションスキルと実践	まちづくりファシリテーターのコミュニケーションスキルと実践
	実践	4	※ WS	コミュニケーション技術演習	ロールプレイやディベートを通してコミュニケーションのスキルを習得する
		5		まちづくりの手法①	まちづくりの目的に応じた手法、参加対象や募集の方法、実践スケジュールの立て方を理解する
		6		まちづくりの手法②	まちづくりの具体的な手法を学ぶ、自己紹介、合意形成、街歩き、KJ法、コラージュの方法を理解する
	実践	7	※ WS	ワークショップ演習 (KJ法・コラージュ)	KJ法、コラージュを実際に行い、プロセスと留意点を学ぶ
		8		地域特性を活かす規制や法律	なぜまちづくりにルールが必要なのかを含め、地域特性を活かすルール、規制や法律、まちづくり条例について学ぶ
	E、修復・防災・エネルギー	9		事前復興まちづくり	事前復興まちづくり訓練、防災やフェーズフリーデザインを理解する
		10	※ 演習	事前復興まちづくり演習	事前復興まちづくりワークショップの演習
		11		建築・まちづくり事例講義	建築とまちづくりとの関係を事例を通して学ぶ
	A、建築デザイン	12		建築設計における参加型のデザイン	建築設計における参加型の設計プロセスを事例を通して学ぶ
		13	※ 見学	参加型デザインによる事例見学	参加型の設計プロセスによってできた事例を訪問、見学し、利用者へのヒアリングを含め、学ぶ
		14		リノベーションまちづくり概論	リノベーションとは何か？まちづくりとの関係、事例を通して学ぶ
	実践	15	※ 見学	リノベーション事例見学	リノベーションの先進事例について見学を通して学ぶ

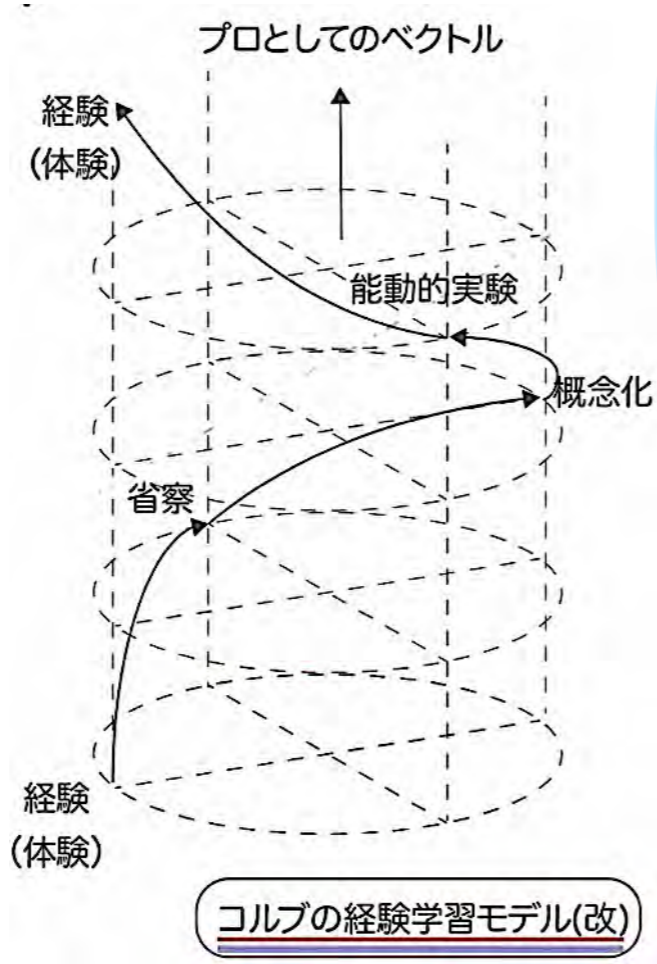
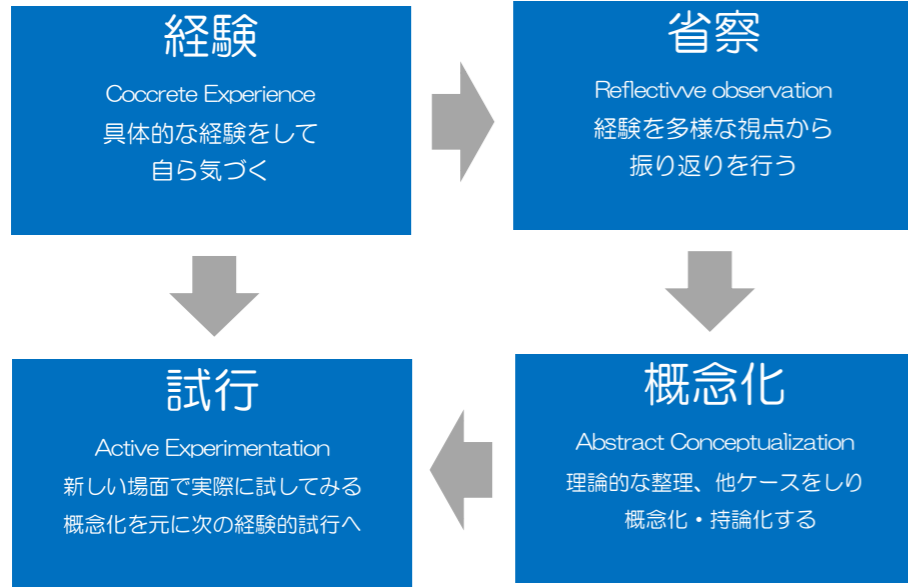
まちづくりファシリテーター養成講座カリキュラム・シラバス					
後期	分野・領域	番号	実践	プログラム名	内容・狙い
15 コマ	E、修復・防災・エネルギー	16		エネルギーとまちづくり	SDGsとまちづくりの関係、エネルギーとまちづくり、省エネ技術について学ぶ
	実践	17	※ 見学	エネルギーとまちづくりの実践	オフグリッドの実践事例を通して、エネルギーとまちづくりを捉える
		18		インスペクション・耐震化・不燃化概論	インスペクション、耐震化と不燃化の技術、方法、助成制度の仕組みを、木造、RC造、S造の構造別に理解する
	実践	19	※ 演習	演習	インスペクション、耐震化と不燃化の技術を用いた演習を行う
		20		保存・修復とまちづくり	保存、修復とまちづくり、歴史的建築物と近代建築物の保存、指定・登録、利活用
	E、修復・防災・エネルギー	21	※ 見学	修復事例見学	保存、修復事例を訪問、見学する。可能であれば関係者からの説明を受け現状の課題を理解する
		22		建築と不動産	建築と不動産、経営、税金について理解する
	D、不動産・経営・税金	23	※ 演習	演習	建築と不動産、経営等を捉えて、演習を行う
		24		今後の不動産業、宅建士の役割	今後の不動産業、宅建士の役割、マイナス不動産の活用を学ぶ
		25	※ 演習	演習	不動産業の初歩的実務の演習を行い、その特徴と留意点を学ぶ
	B、都市計画	26		空き家空き地活用概論	空き家空き地の現状、問題点と課題、その解決策、行政の対応や助成制度、担い手について学ぶ
		27	※ 見学	事例見学	空き家空き地の活用事例の見学
	総合	28	※ まち歩き	まちづくりフィールドワーク実習①	まち歩きのコメントが入ったビデオを見て、まちの読み取り方を学び、各グループでまち歩きを行う
		29	※ まち歩き	まちづくりフィールドワーク実習②	発表（グループ別でスマホ撮影したもの）とディスカッション
		30	※ まち歩き	まちづくりフィールドワーク実習③	提案グループ 修正版グループ

※は実践（演習、見学、合意形成ワークショップ、まち歩き）



[コルブの経験学習サイクルと本講義における応用イメージ]

D・コルブ 経験学習モデルより



コルブの経験学習モデル(改)

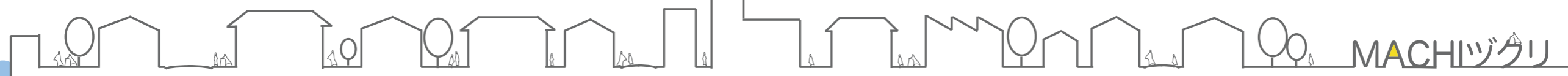
○日本工学院専門学校運用案 全体講座期間；半年間 30コマ Ver_08 0917
2020年後期 金曜午後を想定

	TUE 10月6日	FRI 10月16日	WED 10月21日	FRI 10月23日	FRI 11月6日
1	まちづくりファシリテーターとは何か 動画：連 健夫	まちづくりファシリテーターのコミュニケーション実践 動画：松村 哲志	コミュニケーション技術演習 日工②班 zoom：松村 哲志	目標イメージのためのワークショップ 動画：阿部 俊彦	振り返り (YWT) 6 目的に応じた合意形成のプロセス 動画：連 健夫
2	都市計画の変遷と住民参加の重要性 動画：野澤 康	コミュニケーション技術演習 日工①班+新潟①班 zoom：松村 哲志	4_C班 コミュニケーション技術演習 日工③班 zoom：松村 哲志	4_D班 コミュニケーション技術演習 日工④班+新潟②班 zoom：松村 哲志	7 ワークショップ演習 (J法・コラージュ) 日工+新潟合同 zoom：連 健夫+助手
3	自然災害に備える事前復興まちづくり、方法論 動画：市古 大樹	11 建築・まちづくり実践と建築士の役割 動画：三井所 洋	8 地域特性を活かしたまちづくりの事例とは？ zoom：松本 昭	13 建築の見学 (合同) 動画見学+質疑 質疑 zoom連 健夫	14 リノベーションまちづくり実践 動画：連 健夫
4	10 事前復興まちづくり演習 日工+新潟合同 zoom：市古太郎+助手	12 建築設計における参加型のデザイン 動画：連 健夫	予備	予備	15 リノベーション技術演習 実習 大森 2件、蒲田 1件 見学動画：連 勇太郎

	WED 12月16日	FRI 12月18日	WED 1月6日	FRI 1月8日	動画視聴 1/9-1/21
3	振り返り (YWT) 16 自然環境・エネルギーとまちづくりの現状とまちづくり 動画：北村 稔和	17 60min 18 演習_90min 18 インスタレーション演習 zoom：向田	24 宅建士に学ぶストックタウンのまちづくり 動画：田中 裕治	22 建築と不動産、エリアマネジメントをつなぐ 高橋 寿太郎	21 連健夫 講義導入動画 +修復実例見学動画 動画：連健夫 見学：大倉 渡邊提供
4	18 耐震化、不燃化、インスペクション 際、実践出題 動画：向田 良文	28_30min 28 まちづくりフィールドワーク実習 zoom：松村	25 今後の不動産宅建士演習 zoom：田中 裕治	23 建築と不動産演習 zoom：高橋 寿太郎	

	FRI 1月22日	FRI 1月29日	FRI 2月5日
3	振り返り (YWT) 20 保存・修復とまちづくり zoom：松村	27 空き地活用事例 演習 zoom：松村	29 まちづくりフィール 発表会形式 3校同時課題 日工+麻生 地域 意見聴取 zoom+FacetoFace松
4	26 人口減少社会における空き屋の活用 動画：饗庭 伸	29 まちづくりフィールドワーク実習② zoom：松村	4_コミュニケーション技術演習 班分けは以下の人数になるように行う 日工① 10名 日工② 20名 日工③ 20名 日工④ 10名 新潟① 10名 新潟② 10名

実践科目 振り返り (YWT) 実証 (まとめの課題)



[講座実践の基本的な流れ 人材育成のイメージ]

講義の担当者：認定まちづくり適正建築士

講義の担当者はJCAABEの認定まちづくり適正建築士が行うことが義務付けられており、それにより講座の質を担保することが考えられている。



JCAABEホームページ参照
<https://jcaabe.org/page-263/>

[小さな経験学習サイクル]

第3回から第26回までの講義、実践を経験学習サイクルが回ることを意識して実施していく。
→小さな経験学習サイクル

[大きな経験学習サイクル]

まとめ課題としてまち歩きフィールドワークを実施。これまで積み重ねた各経験学習を統合する形で経験学習サイクルが回るように意識。
→大きな経験学習サイクル



実践校の状況に応じて運用マニュアルをもとに実践校教員とJCAABE教育推進担当が協働して各教育機関にあった運用方法を作り上げる。実施校の授業状況、対象学生の状況などを鑑みて

まちづくりファシリテーターの意義や都市計画、まちづくりにおける重要性受講についての心構えなど学習効果を高めるための講義ガイダンスなど学習に先立って実施。
第一回動画講義 他

レスポンスペーパー

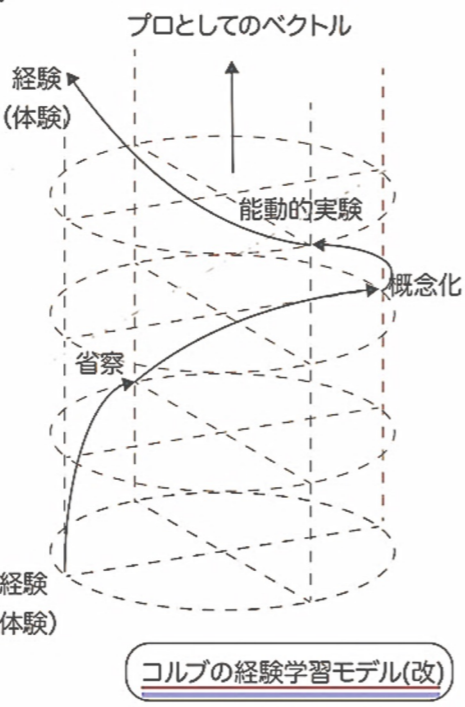
レスポンスペーパー
YWT シート

まとめ課題は各教育機関の所在地においてエリアを選定。地域特性を活かした課題。
→地域への提案やつながりへ

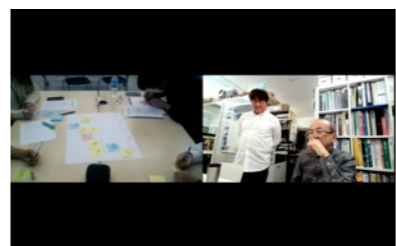
繋がりを重視して合同発表会をリアルとwebが融合したハイブリットで実施。全国の仲間が繋がっていく。

実務・実際のまちづくりへ

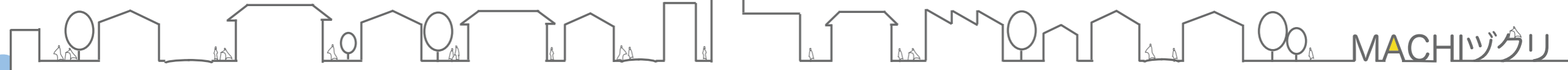
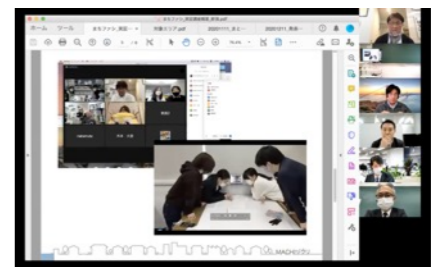
講義 (オンデマンド)



実践



発表会



[テキスト対応講座・テキスト執筆者 一覧]

まちづくりファシリテーター養成講座テキスト「建築系のためのまちづくり入門/学芸出版社」
執筆者 及び 講義-教科書 対応表



建築系のためのまちづくり入門/学芸出版社

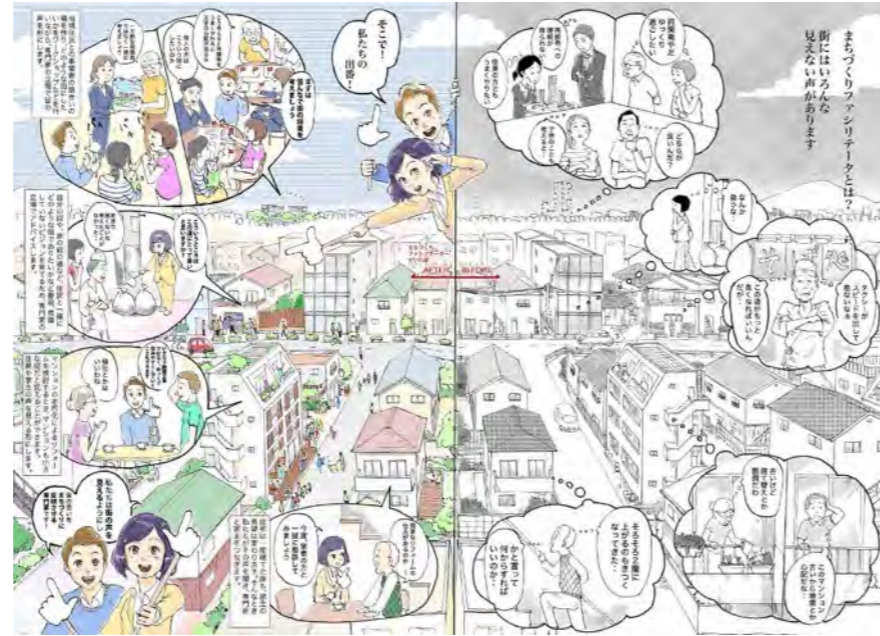
分野	番号	プログラム名 (講義名)	教科書 ページ	章	教科書単元タイトル	著者
総合	1	まちづくりファシリテーターとは何か?	P7	序章	建築+αの知識がまちを変える	連 健夫 (登録建築家・JCAABE代表理事)
B、 都市計画	2	都市計画の変遷と 住民参加の重要性	P16	1-1	都市計画の変遷と 参加型まちづくりの発展	野澤 康 (工学院大学教授/博士)
	3	まちづくりファシリテーターの コミュニケーション力の実践	P90	2-1	市民と協働するための 「手助け」の態度 (Attitude)	松村 哲志 (登録建築家・日本工学院専門学校)
C、 合意形成 ワーク ショップ	5	目標イメージ 共有のための ワークショップ	P100	2-2	共通目標を実現するためのワーク ショップの進め方	阿部 俊彦 (立命館大学准教授/博士)
	6	目的に応じた合意形成の 手法・プロセス	P112	2-3	目的に応じた合意形成の手法とプ ロセス	連 健夫 (登録建築家・JCAABE代表理事)
B、 都市計画	8	地域特性を活かすルール、規制や 法律、まちづくり条例とは?	P61	1-5	魅力アップにかかせない市民とつ くる「まちづくりのルール」	松本 昭 (チームまちづくり/博士)
E、修復・ 防災・エネ ルギー	9	自然災害にそなえる 事前復興まちづくりの方法論	P190	4-4	事前復興まちづくりで「くらしと まちの継続」を考える	市古 太郎 (東京都立大学教授/博士)
	11	建築・まちづくり実践と 建築士の役割	P26	1-2	まちづくり現場における建築士の 多様な役割	三井所清典 (登録建築家/まちづくり専攻建築士 /アルセッド建築研究所/芝浦工業大学名誉教)
A、 建築 デザイン	12	建築設計における 参加型のデザイン	P35	1-3	建築設計における参加のデザイン	連 健夫 (登録建築家・JCAABE代表理事)
	14	リノベーションまちづくりの 動きと実践	P154	4-1	リノベーションでまち全体をアッ プデートする	連 勇太郎 (建築家/NPOモクチン企画)
E、修復・ 防災・エネ ルギー	16	自然環境・エネルギーを取り巻く 状況とまちづくりとの関係	P78	1-6	建築系の未来にかかわる SDGsと 持続可能なエネルギーの新知識	北村 稔和 (株)家フリマ代表
			P203	4-5	環境配慮型の建築づくりで市民とつながり 地域のリテラシーを向上させる	湯浅 剛 登録建築/アトリエ六曜社
A、 建築 デザイン	18	耐震化、不燃化、インスペクショ ンの実際	P180	4-3	適切なインスペクションによる耐震・ 不燃化がまちの寿命も更新する	向田 良文 建築家/デザインタック代表
E、修復・ 防災・エネ ルギー	20	保存・修復とまちづくり	P166	4-2	グローバルな近代建築の保存活用 活動がまちを活かす	渡邊 研司 東海大学教授/博士
			P178	Column	保存と修復、地域のまちづくり につなげ	大倉 宏 新潟まちづくりの会/美術評論家
D、不動 産・ 経営・税金	22	建築と不動産、エリアマネジメ ントをつなぐ基礎知識	P126	3-1	エリアマネジメントにつながる建 築と不動産の基礎知識	高橋 寿太郎 (創造系不動産代表)
	24	宅建士に学ぶストックさせない マッチング術	P139	3-2	“負動産”の新陳代謝を促す空き 家マッチング術	田中 裕治 宅建士/全国空き家流通促進機構代表
B、 都市計画	26	人口減少社会における空き屋・空 き地という課題	P48	1-4	人口減少社会における空き家・空き地 の利活用と建築系専門家の可能性	饗庭 伸 東京都立大学教授/博士



[わかりやすくするための工夫 イラスト・漫画・動画]

テキスト、広報資料などは学生や住民・市民・行政などの一般の方々まで幅広い方が見やすいように工夫を行い、JCAABEホームページなどで公開することで積極的に広報を行なった。

イラスト (パンフレット掲載)



PR動画 (下記URL JCAABEHP掲載 参照)

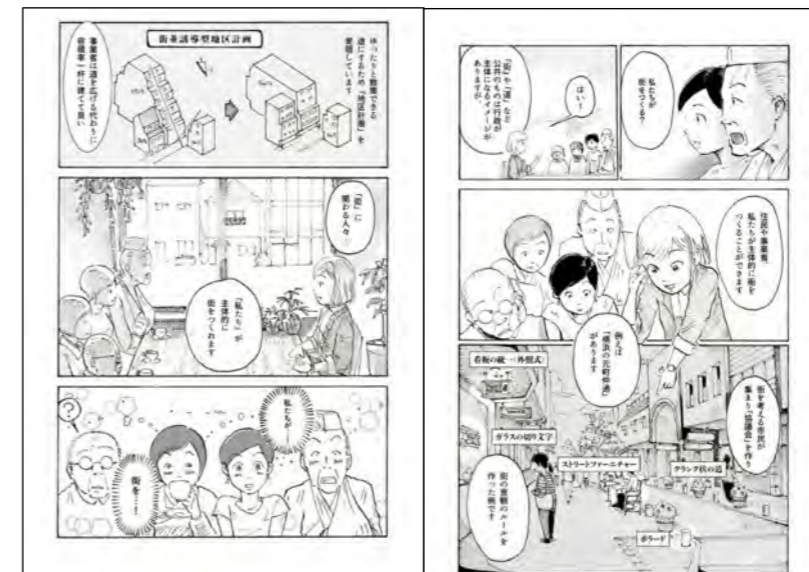


<https://jcaabe.org/facilitator>

挿絵 (教科書掲載)



ストーリー (漫画 教科書掲載)



[動画講義 概要例]

□タイトル：「目標イメージ共有のためのワークショップ」

□講師：阿部 俊彦

□分野/内容・狙い：合意形成ワークショップ

まちづくりの目的に応じた手法、参加対象者や募集の方法、実践スケジュールの立て方を理解する。

□本数/時間：4本 合計 61分59秒

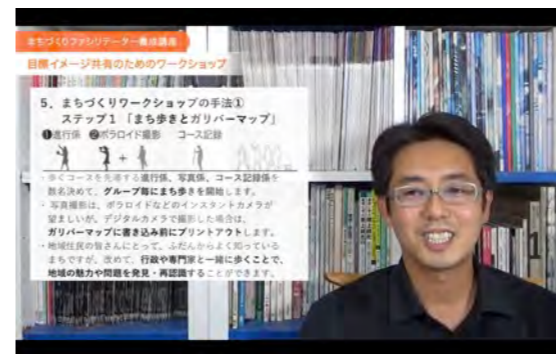
工夫したポイント

- ・スキマ時間を利用して視聴することを考えて全体の講義を内容的な節目で分割して作成
- ・スマートフォンでも見える大きさの文字でテロップ、資料を表示

①：6分20秒



②：13分48秒



④：10分22秒



③：31分29秒



[実践 (課題例と教育での実践)]

教育の実践例としてまとめ課題まち歩きフィールドワークを取り上げている。

課題 コマシラバス エリアマップ (福岡 麻生建築&デザイン専門学校)

2020/12/01 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 Ver01
:担当 連健夫先生 古賀先生(麻生建築&デザイン専門学校)、松村 No3001

まちづくりフィールドワーク 演習

課題表

目的
まとめ課題としてこれまでの講座を踏まえてまちづくりフィールドワーク実習を行う。
・まち歩きを行い、まちをみること、まちの資源を見つけることの演習を行う。
・また、その見つけた資源を生かすための提案を行う。

課題1
「指定されたエリアを歩き、街の”たから”と”あら”を見つけてショートムービー(動画)を撮影しアップしてみよう!」

場所: 添付した福岡市博多区の地図のエリア A、B、C ※別添資料参照
班ごとにディスカッションしてエリアを最初に決め、そのエリア内で見つけてくること。

●提出期間: 2020年12月1日(火)~2021年1月25日(月)
※2020年1月12日(火) 中間ディスカッション予定(授業内)

提出物1: ショートムービー(動画)

動画のルール

- 1_長さは5秒程度以内としてください。
- 2_コメントを動画に話しながら撮影してください。
例_撮影時マイクONにして「道が細いのでごい賑わいです!」などコメント添付
- 3_1人一本以上、複数提出してOK。(加えます!)
- 4_たから・あらがわかりやすく撮影しようね!
- 5_ファイル名を変えてわかりやすく投稿してください。
例 エリア 通し番号 “たから”か”あら”か?
A_1_001_たから
班内での個人の番号

【ファイル名の変更方法】(スマホ・タブレットも同様)
投稿する前にファイルを保存。名前の変更をしてから投稿してください。

提出場所: クラスルーム課題に各自提出してください。
※課題完了は最後まで行わないでください。提出取り消しを行うことで動画の追加ができます。

提出物2: マップ(手書きで動画撮影ポイントをマッピング)

配布された各エリアのマップに撮影したポイントを記入してください。
動画の撮影ポイントがわかりやすく、アップした動画のファイル名を記入してください。

提出場所: クラスルーム課題に各自提出してください。

- 1_マップに手書きで記入していきましょう。
- 2_ポイントは漏らさず記入。写メを撮影して提出してください。(なるべく真上から)
- 3_動画撮影が終わった後、最後に提出しましょうね!

課題1.5

- ・他の人の動画を見て提出物にコメントしてください!(20文字以内でコメントしてね!)

【方法】 クラスルーム_課題_提出物_限定コメントで入って書き込みます。
・コメントがどのくらい盛り上がるかも採点対象です。ぜひどんどんコメントしましょう!

2020/12/01 文科省事業 まちづくりファシリテーター養成講座 Ver01
:担当 連健夫先生 古賀先生(麻生建築&デザイン専門学校)、松村 No3002

まちづくりフィールドワーク 演習

課題2
「エリア内でサイトを決めて街の”たから”と”あら”を使ってそれらを生かした提案をしてみよう!」

場所: 各班のエリア内で集めた動画などを参考にしてサイトを決めてください。
※中間ディスカッションでサイトを候補2~3箇所程度に絞り、12月4日に決定。提案の作成予定。

●提出: 2021年1月26日(火) 授業時間内でまとめて提出
提出場所: クラスルームにて1月26日課題として出題しますので提出してください。
※グループで1案 提出してください。

最終提出物: 提案スケッチ

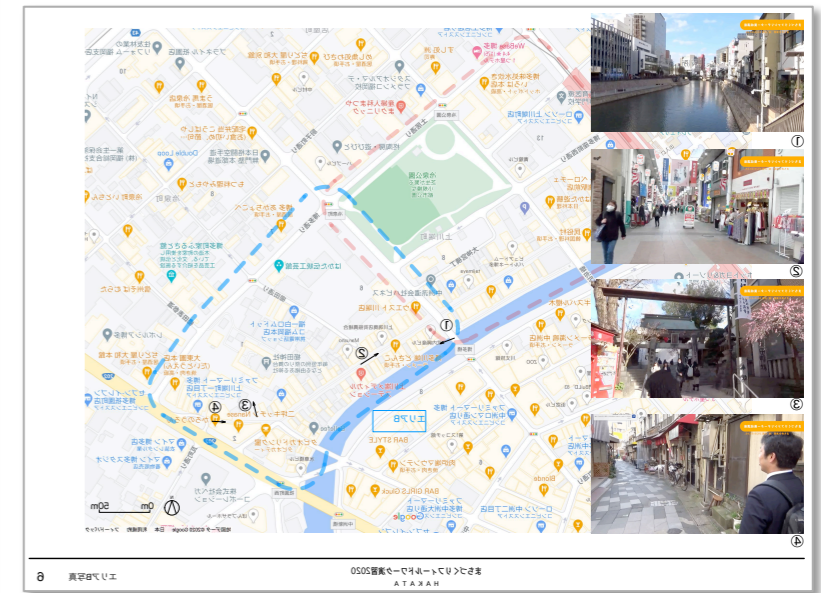
- ・各グループに模造紙を配布いたします。模造紙一枚以上で提案を行なってください。
- ・指定したサイトがわかるようにしてください。 配布マップなどうまく使ってね!
- ・第一課題の動画などもうまく利用しよう!

動画をスクリーンショットなどで画像にしてアウトプットしておいたりすると材料で使えて便利です。

- ・綺麗に作るよりもいかに話し合いをしてその意図を表現するかを考えてください。
綺麗さを求めるわけではなくアイデアをいかに伝えるか、こだわりを持って行ってね!
- ・絵や図などビジュアルでわかりやすくすることも大切です。
- ・タイトルをつけてください!

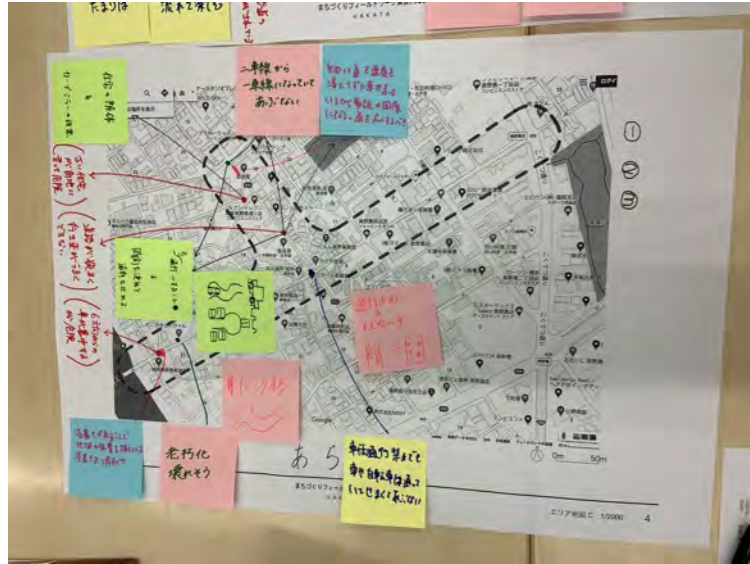
参考資料
・連健夫先生 提案例参照

発表
2021年2月5日(金) 13時00分から 発表会を行います。
・経過発表会 2021年1月29日(火) 最後に全ての班に発表をしていただきます。
詳細は後日発表いたします
※なおブラッシュアップ後 発表会用再提出 2021年2月4日(木)

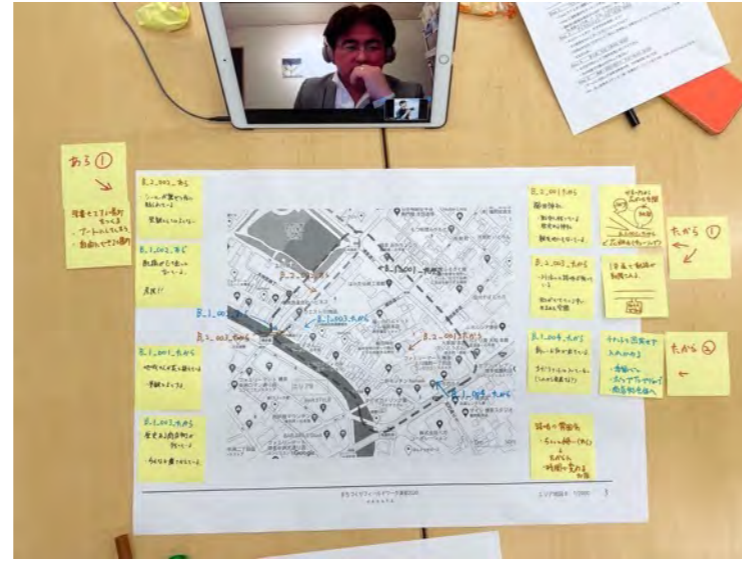


[実践 (課題例と教育での実践)]

実践の記録



分析について学生が自主的にポストイットを使って話し合いを行っている。



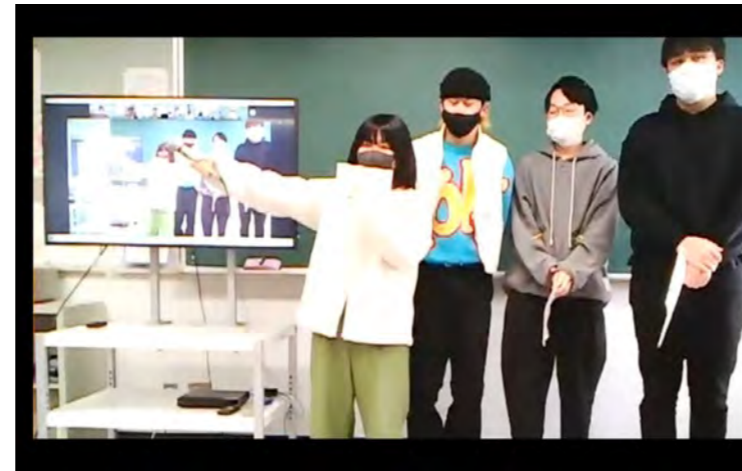
実施された分析について現地教員とwebでつながった特別講師も混ぜてディスカッションを行う。



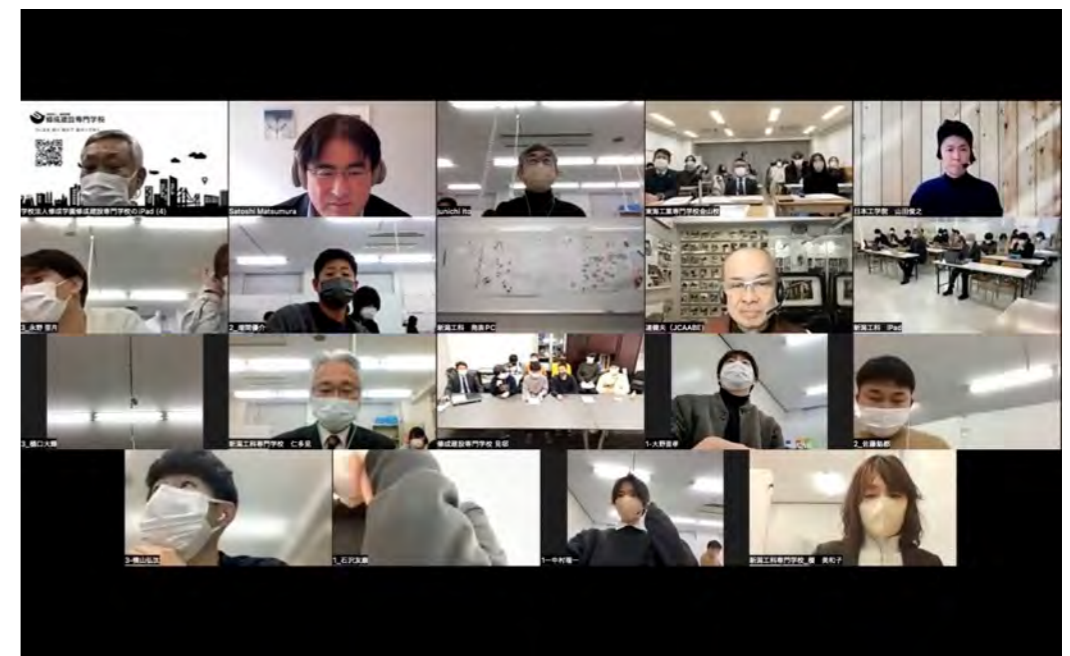
別課題の例であるがwebでつながってグループディスカッションを行う際はホワイトボードなどを利用。



提案に向けてwebを使いつながっている特別講師も交えてディスカッション。



発表は皆が協働して行う。



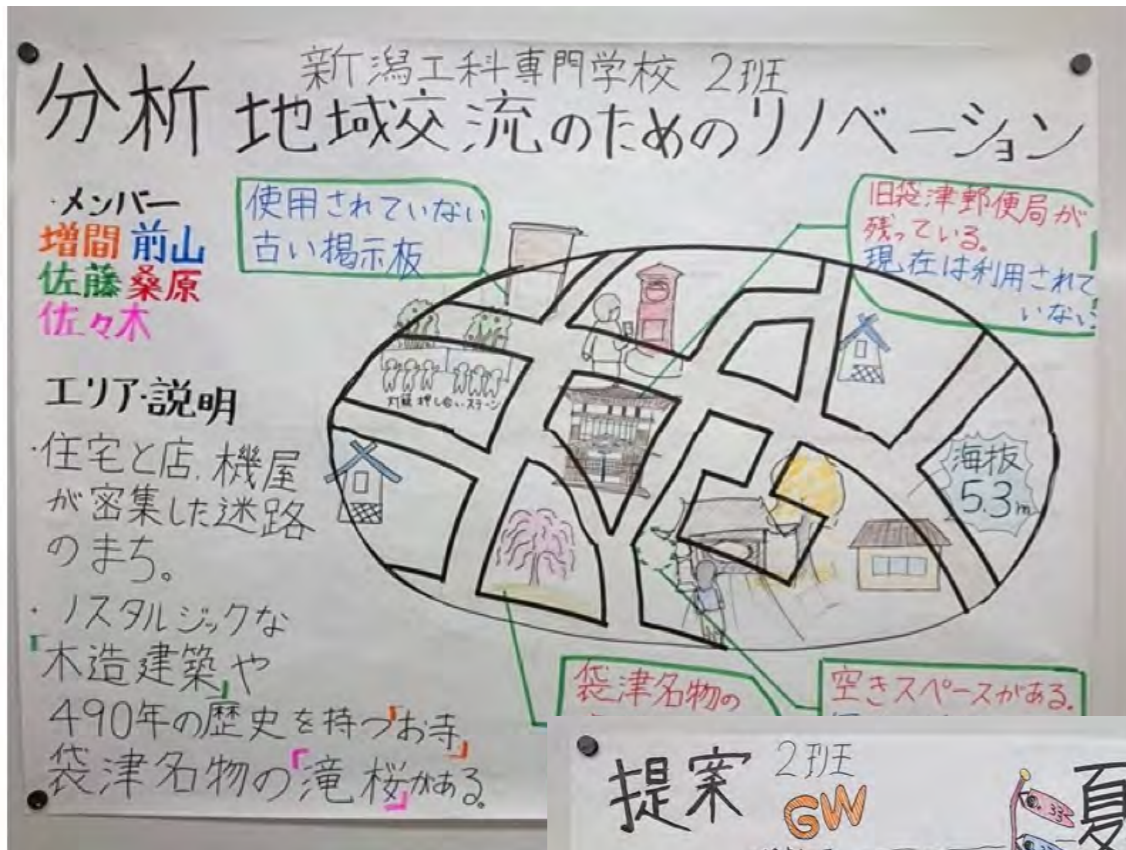
3校合同で実施された発表会。(2022年、新潟_名古屋_大阪) 他地域とつながることが学習意欲の向上にもつながる。プロである特別講師も参加することでより深い学びへ。



[実践 (課題例と教育での実践)]

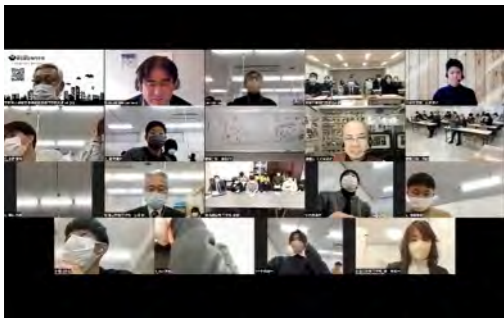
新潟工科専門学校成果物(2022年)

実践の記録



まとめ課題の発表会に地域の行政職員が参加。この講座を手がかりに学校と地域が教育を通じて連携する。

2020年 東京都大田区役所職員
2022年 新潟市江南区役所職員 (写真)



他校の発表をweb会議システムを使いながら繋がって行っている。みんな繋がっていることを楽しんでいる。(東海工業専門学校金山校)



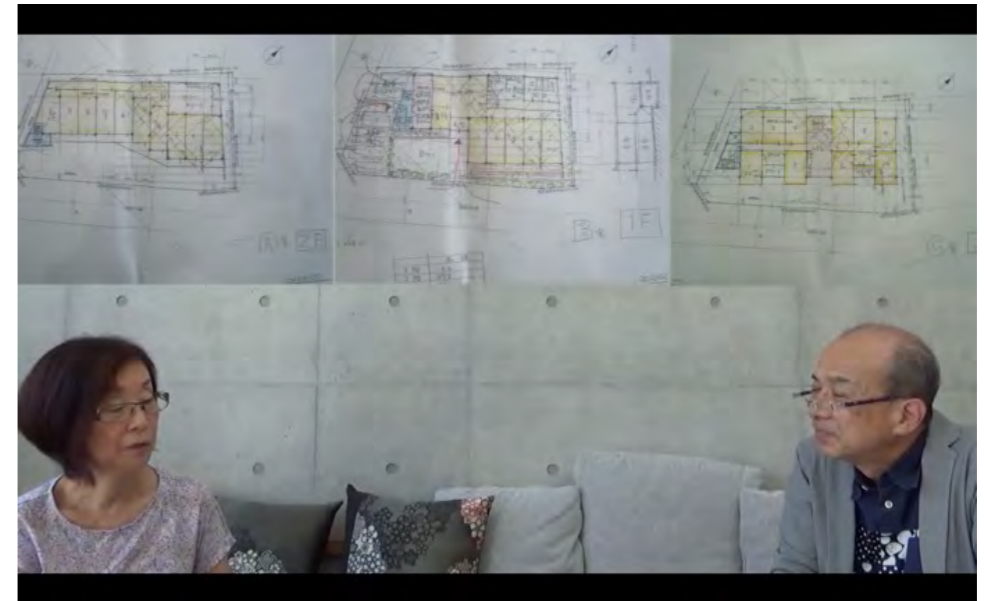
〔実践 見学動画の工夫〕

見学動画はリアルにその建物を設計者・クライアントと訪れているような感覚で疑似体験できるように制作した。→一歩進んだ体験型の見学動画への工夫

荻窪家族レジデンス



設計者と共に建物を訪れているかのように撮影した。



クライアントにも登場してもらい実体験としてその経過なども解説。

田園都市生活シェアハウス



平面図などを表示し、より深い理解を促す。



逸話やストーリーなども語られる。



[運用マニュアル 概要]

講座の質を担保する目的で運用マニュアルを作成した。これらは報告書としてJCAABEのホームページで公開されており、運用マニュアルを元に各教育機関とJCAABEが協働して実践を行なった。(左記 URL 参照) <https://jcaabe.org/facilitator>

運用マニュアル



運用マニュアル 掲載事項

- ・ 育成する人材像と教育目的、方向性のポイント
- ・ シラバスと運用
- ・ モデルカリキュラム
- ・ web利用のポイント
- ・ リアルとwebの融合に向けて
- ・ web会議システムの利用について
- ・ クラス管理ツールの利用法
- ・ レスポンスペーパーとYWTシート
- ・ 講義（オンデマンド）
- ・ 反転授業について
- ・ 実践について
- ・ 演習の課題例
- ・ 判定について

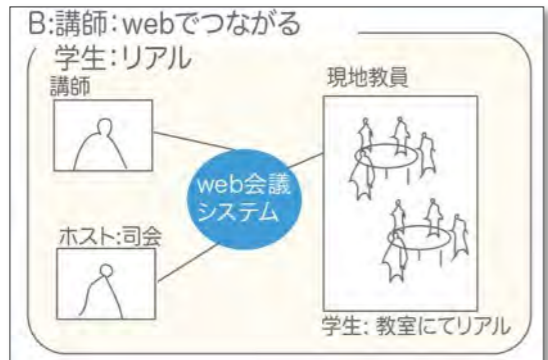
モデルカリキュラム

OBパターン 1：全体講座期間：半年間（2ヶ月（7.5週）×2）運用				
2021年前期 会場午後を想定				
3月	4月	5月	6月	7月
1 1 まちづくりファシリテーターとは？	3 3 まちづくりファシリテーターとは？	5 5 まちづくりの手法①	7 7 ワークショップ演習（仮設・コワーキング）	9 9 事前復習まちづくり
2 2 都市計画における住民参加とファシリテーターの役割	4 4 コミュニケーション技術演習	6 6 まちづくりの手法②	8 8 地域特性を活かす課題の演習	10 10 事前復習まちづくり演習
3 3 まちづくりの意義と実践	11 11 参加型デザインによる実例見学	13 13 まちづくりの意義と実践	15 15 リノベーションまちづくり演習	17 17 事前復習まちづくり演習
4 4 建築設計における参加型のデザイン	14 14 見学移動の場合	16 16 リノベーション技術・実習		

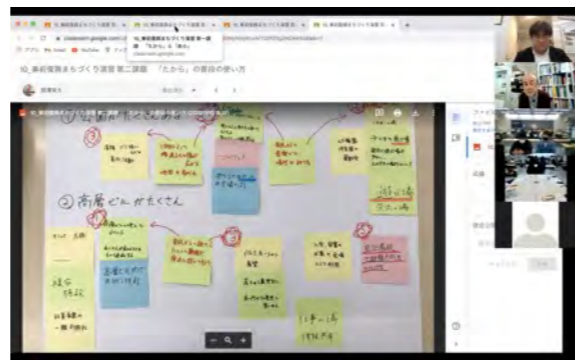
2021年前期 会場午後を想定				
3月	4月	5月	6月	7月
18 18 インスピレーション・創造性・不慣れな環境	22 22 建築と不動産	24 24 エネルギーとまちづくり	26 26 空き家実地活用演習	27 27 1.7・2.1・2.7 エネルギーとまちづくりの実践（見学）
19 19 演習	23 23 演習	25 25 移住・移住とまちづくり		28 28 空き家実地活用実例見学
24 24 まちづくりフェイェルワークショップ①（短期生を優先する運用を推奨）	29 29 まちづくりフェイェルワークショップ②	30 30 まちづくりフェイェルワークショップ③		

※30のみ教員会形式にて特別な授業として行う運用も検討

WEB利用のポイント(抜粋考え方)



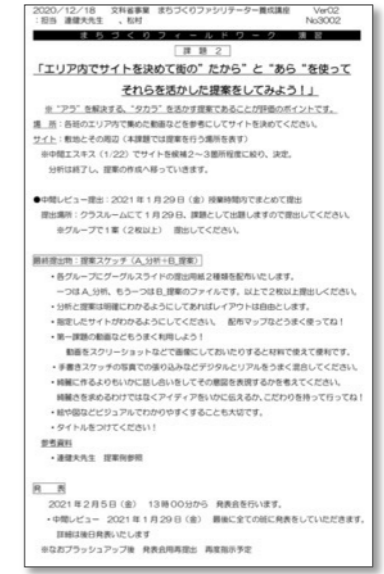
WEB利用のポイント(抜粋参考例)



クラス管理ツール



課題例



[運用マニュアル 運用案 (抜粋)]

各教育機関の特徴、カリキュラムに合わせて効果的に導入することを考え、さまざまなパターンの運用案をマニュアルに掲載。これを元にしてJCAABEと教育機関が協働して運用案を作成し実践を行っていく。

OBパターン (2021年前期金曜日午後を想定)

OBパターン 1 : 全体講座期間 ; 半年間 (2ヶ月 (7.5週) × 2) 運用
2021年前期 金曜午後を想定

	FRI 4月9日	FRI 4月16日	FRI 5月7日	FRI 5月14日	FRI 5月21日
昼休					
3	1 まちづくりファシリテーターとは何か	3 まちづくりファシリテーターのコミュニケーション力	振り返り (YWT) 5 まちづくりの手法①	7 ワークショップ演習 (K J法・カラージュ)	9 事前復興まちづくり
4	2 都市計画における住民参加とファシリテーターの役割	4 コミュニケーション技術演習	6 まちづくりの手法②	8 地域特性を活かす規制や法律	10 事前復興まちづくり演習
	FRI 5月28日	FRI 6月4日	FRI 6月11日		
昼休					
3	振り返り (YWT) 11 建築・まちづくり事例講義	13 参加型デザインによる事例見学	振り返り (YWT) 14 リノベーションまちづくり概論		
4	12 建築設計における参加型のデザイン	予備 見学移動の場合	15 リノベーション技術・実習		

2021年前期 金曜午後を想定

	FRI 6月18日	FRI 6月25日	FRI 7月2日	FRI 7月9日	FRI 7月16日
昼休					
3	18 インスペクション・耐震化・不燃化概論	振り返り (YWT) 22 建築と不動産	振り返り (YWT) 16 エネルギーとまちづくり	26 空き家空き地活用概論	17・21・27 エネルギーとまちづくりの実践 (見学)
4	19 演習	23 演習	20 保存・修復とまちづくり		・修復事例見学 ・空き家空き地活用事例見学
	FRI 7月23日	FRI 9月3日	FRI 9月10日		
昼休					
3	振り返り (YWT) 24 今後の不動産業、宅建士の役割	29 まちづくりフィールドワーク実習② (①短縮し②を延長する運用を推奨)	30 まちづくりフィールドワーク実習③		
4	まちづくりフィールドワーク実習①				

演習科目
※30のみ発表会形式にて特別な授業として行う運用も検討

OCパターン 2 (2021年夏休み後半の2週間集中講義で実施を想定)

OCパターン 2 : 後期15コマ 2Weeks (全体1ヶ月) 運用

2021年9月13日 (月) ~ 9月24日 (金) を想定

	MON 9月13日	Tue 9月14日	Wed 9月15日	Thu 9月16日	Fri 9月17日
1					
2	16 エネルギーとまちづくり		振り返り (YWT) 20 保存・修復とまちづくり		
昼休					
3	17 エネルギーとまちづくりの実践 (見学)	振り返り (YWT) 18 インスペクション・耐震化・不燃化概論	21 修復事例見学	振り返り (YWT) 22 建築と不動産	振り返り (YWT) 24 今後の不動産業、宅建士の役割
4	予備 見学移動の場合	19 演習	予備 見学移動の場合	23 演習	25 演習

	MON 9月20日	Tue 9月21日	Wed 9月22日	Thu 9月23日	Fri 9月24日
1	敬老の日	28 まちづくりフィールドワーク実習①	秋分の日	振り返り (YWT) 29 まちづくりフィールドワーク実習② (①短縮し②を延長する運用を推奨)	30 まちづくりフィールドワーク実習③
2		振り返り (YWT) 26 空き家空き地活用概論			
昼休					
3		27 事例見学			
4		予備 見学移動の場合			

演習科目
※状況によっては30を期間をとって発表会形式も運用可能

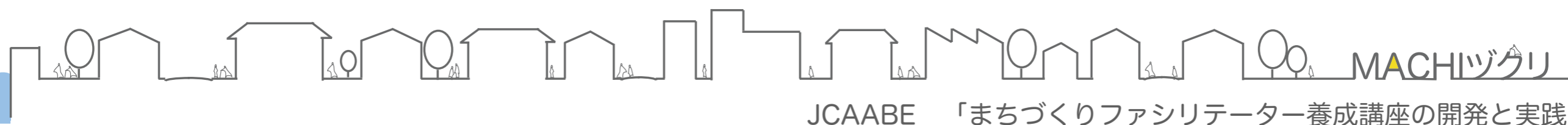
ODパターン 1 (2021年夏休み全班1週間集中講義で実施する想定)

ODパターン : 前期15コマ 1Weeks (全体2Weeks) 運用

前期 2021年7月26日 (月) ~ 8月6日 (金) を想定

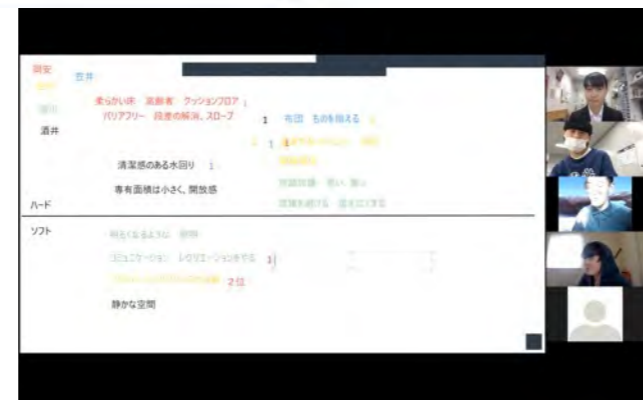
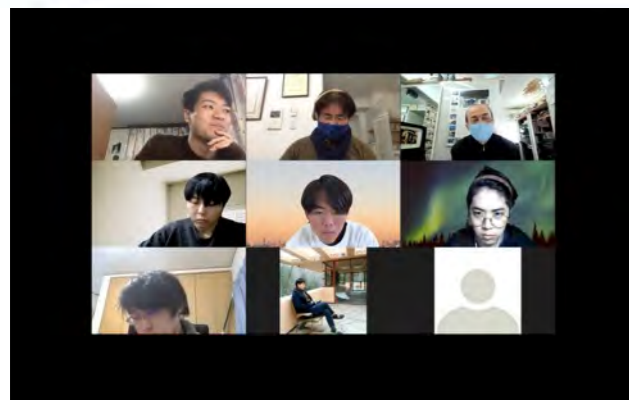
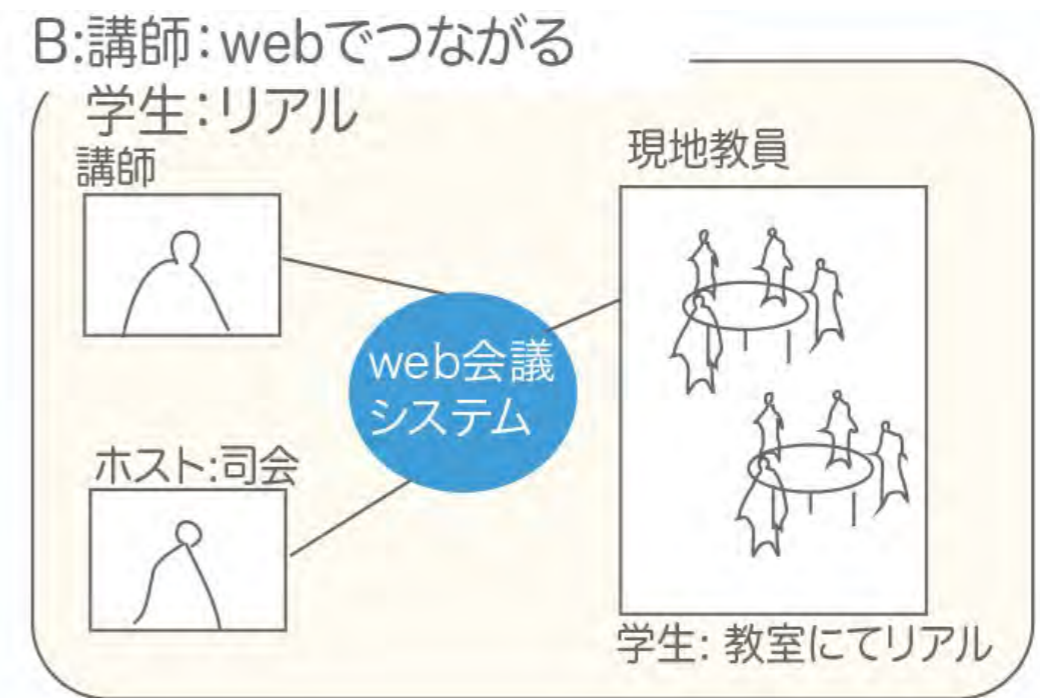
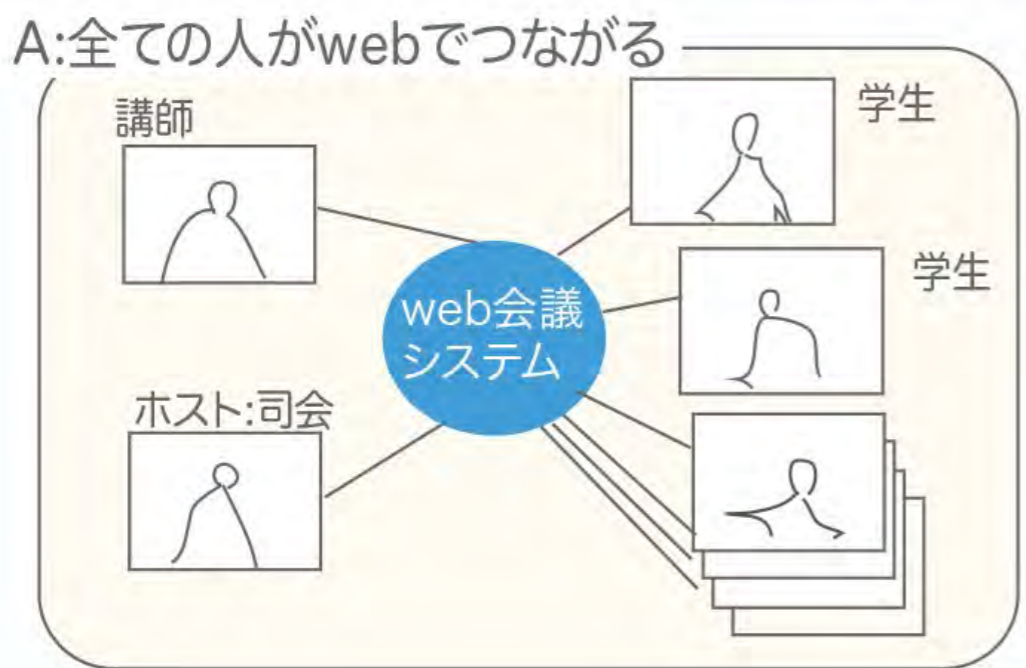
	MON 7月26日	Tue 7月27日	Wed 7月28日	Thu 7月29日	Fri 7月30日
1	1 まちづくりファシリテーターとは何か			振り返り (YWT) 11 建築・まちづくり事例講義	振り返り (YWT) 14 リノベーションまちづくり概論
2	2 都市計画における住民参加とファシリテーターの役割	振り返り (YWT) 5 まちづくりの手法①	振り返り (YWT) 8 地域特性を活かす規制や法律	12 建築設計における参加型のデザイン	15 リノベーション技術・実習
昼休					
3	3 まちづくりファシリテーターのコミュニケーション力	6 まちづくりの手法②	9 事前復興まちづくり	13 参加型デザインによる事例見学	
4	4 コミュニケーション技術演習	7 ワークショップ演習 (K J法・カラージュ)	10 事前復興まちづくり演習	予備 見学移動の場合	

演習科目
振り返り (YWT)



[運用マニュアル web利用のポイント (抜粋)]

Webを利用して、学習者・現地教員と特別講師、離れた学習者同士がつながる方法をマニュアル化して解説。距離・時間・人に左右されない教育の実践を演習においても実施。



ブレイクアウトルームの利用

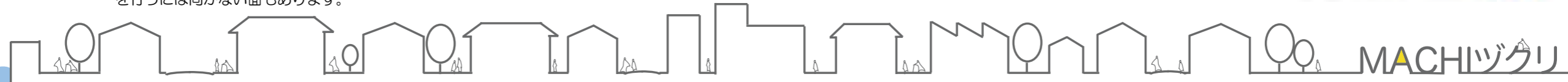


ホワイトボードの利用



ホワイトボードのツール解説ポイント

- ① 記入する色も変えられるのでリアルでポストイットの色を変えるように誰の発言かなどもうまくわかるように各受講生同士での色の分担などをしましょう！
- ② zoomの機能の一環で使用できるのでこの後、解説を行うGoogle スライドなどに比べて比較的習得に時間がかからず行えるという利点があります。
- ③ 2枚目の用紙を立ち上げるためには一度、記録してから閉じる必要があるため複数のテーマを議論するために工夫が必要になります。
- ④ 色の数に限りがあること、テキスト入力機能がGoogle スライドに比べて使いにくさがあることなどのウィークポイントもありますので後半の演習(インスペクション演習、建築と不動産演習、宅建士演習、まちづくりフィールドワーク演習など)を行うには向かない面もあります。



[レスポンスペーパー・YWTシート]

第29回 レスポンスペーパー_日本工学院

まとめ課題の提案の制作と中間レビューを行なった上でのレスポンスペーパーを提出してください。

***必須**

実践を受けた上で200文字以上300文字以内で自由に記入してください。

回答を入力

学籍番号*

回答を入力

氏名*

回答を入力

送信

YWTシート_4_日本工学院

前回の実践を思い出しながら下記の項目について具体的にまとめてみてください。

***必須**

Y_何をやりましたか？

回答を入力

W_何がわかりましたか？

回答を入力

T_次にやることは何でしょうか？

回答を入力

学籍番号を記入してください。*

回答を入力

氏名（フルネームで記述してください。）*

回答を入力

• レスポンスペーパー

レスポンスペーパーは各授業の質問、意見、感想などを200字から300字で記載するレポート課題。全ての講義、実践において実施。その授業を集中して聞き、その回の振り返りを行ってもらうために授業時間終了時に回収を行った。

• YWTシート（前述参照）

実践の振り返りを行うために宿題として出題。振り返りを促すことでさらなる深い学習の促進を狙っている。



〔反転授業 実施イメージ・ポイント・ディスカッションテーマ例〕

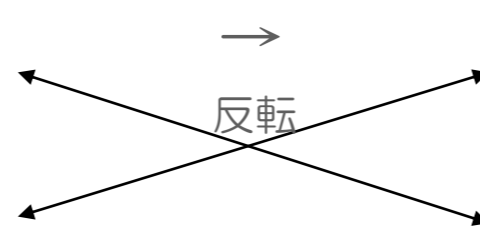
十分に授業への能動性が確保されている少人数（20名以内）が受講生の場合、反転授業を行うことも動画講義の利点を十分に活かして学習を深める一つの方法であると考えられます。麻生建築&デザイン専門学校、修正建設専門学校、読売理工医療福祉専門学校などで導入。

通常の授業

授業（講義）

反転授業

自宅学習（オンライン動画講義）



自宅学習（振り返り）

授業（ディスカッションや振り返り）

ポイント：反転授業のデメリット・課題

- ・ディスカッションについては20名以下の授業が望ましい。
- ・学習者の学習習慣、モチベーションに依存する傾向があります。
- ・ディスカッションテーマにより深い学びが得られるか？影響するため、講師自身のスキルを充実させる必要があります。



ディスカッションにwebを使って短時間でもプロである特別講師が参加するとさらに学習効果を高めることができる。

◇第1回・第2回ディスカッションテーマ

実践例 麻生建築&デザイン専門学校

「視聴した動画を簡単にポイントを発表してみよう！」

視聴した動画について簡単に内容をまとめてポイントを発表してみよう！

1_序章「まちづくりファシリテーターとは何か？」

連 健夫 先生

2_「都市計画の変遷と住民参加の重要性」

野澤 康 先生

その上で

テーマ「まちづくりファシリテーターに

必要な力は何でしょうか？」

資料でお配りしたイラストを参考に議論してみよう！

グループ分けは適宜とする。

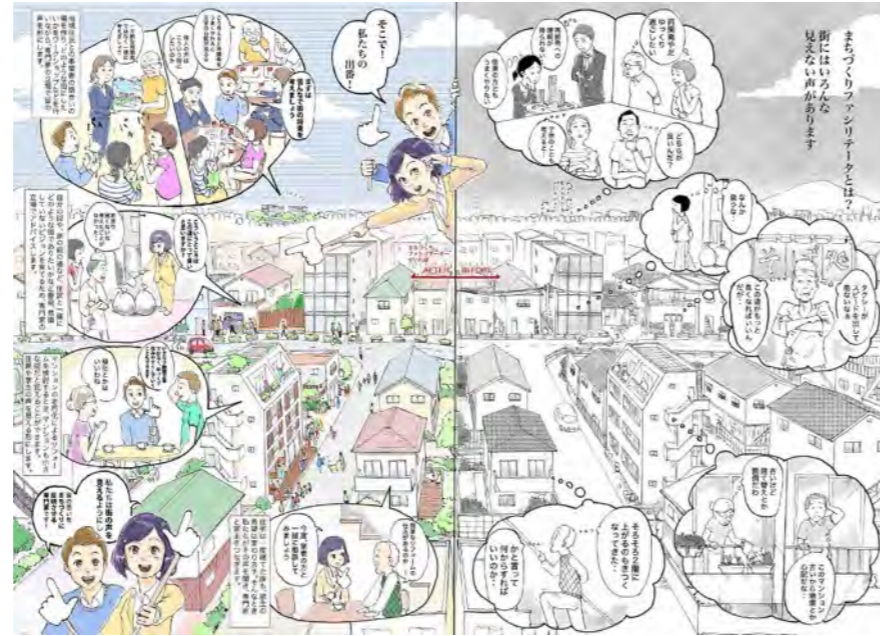
基本を教室グループとzoomグループの二つで行います。



[わかりやすくするための工夫 イラスト・漫画・動画]

テキスト、広報資料などは学生や住民・市民・行政などの一般の方々まで幅広い方が見やすいように工夫を行い、JCAABEホームページなどで公開することで積極的に広報を行なった。

イラスト (パンフレット掲載)



PR動画 (下記URL JCAABEHP掲載 参照)

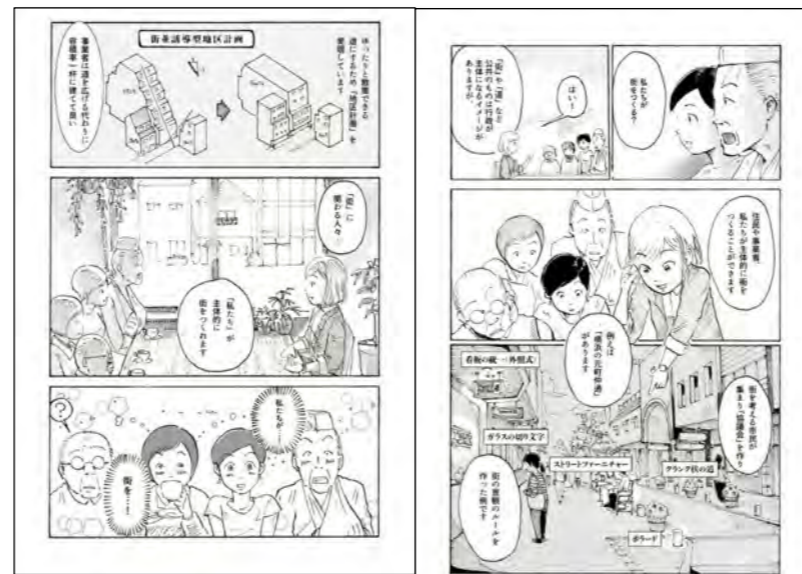


<https://jcaabe.org/facilitator>

挿絵 (教科書掲載)

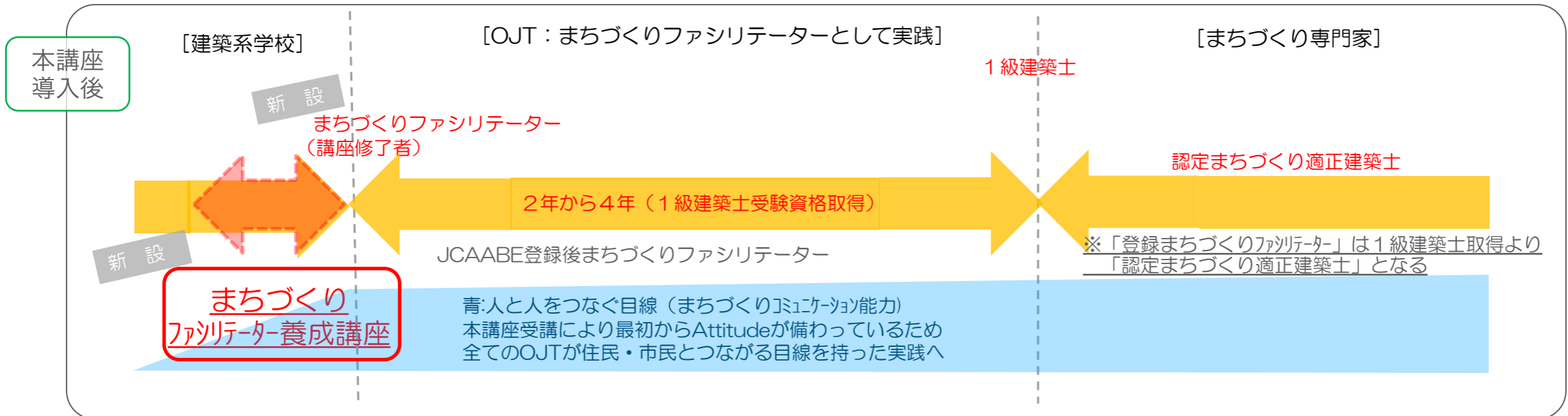
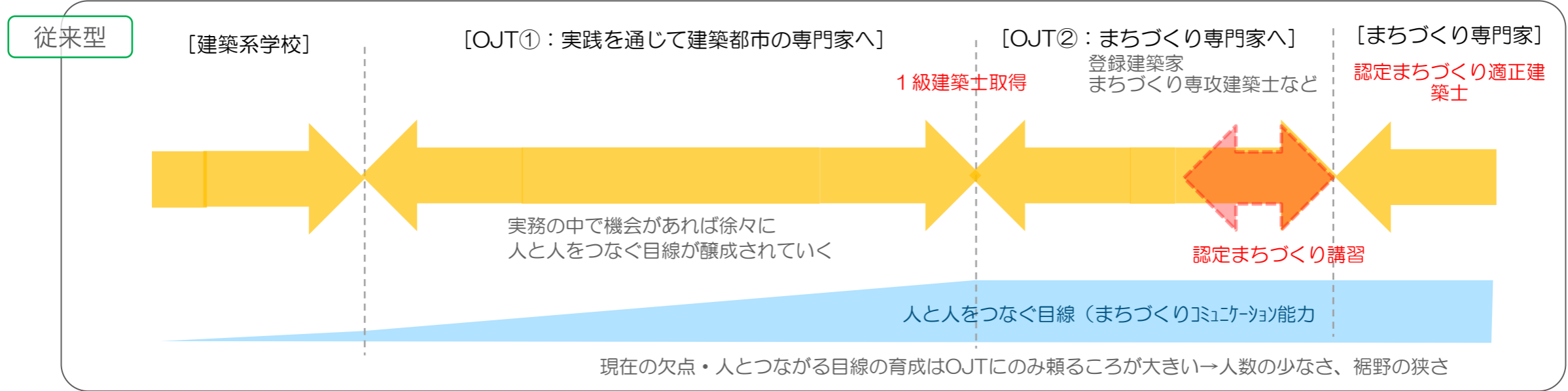


ストーリー (漫画 教科書掲載)



[まちづくり人材育成のキャリアストーリー]

これまでまちづくり人材育成においてはOJTを中心にその中で機会があれば徐々に人と人を繋ぐ目線(Attitude)が育成されてきた。この取り組みは建築系学校において先に住民・市民とつながる態度(Attitude)を育成することで実務で経験するOJTが全て住民・市民とつながる目線を持った経験になっていく。また、オンライン講座やサマーセミナーなどを設けておりリカレント教育の視点を持った学び直しによるキャリアアップにも対応するキャリアストーリーにも対応している。



認定まちづくり適正建築士：JCAABEによる認定資格
 良質や美しいといった定性的な判断基準は、専門家をまじえた協議調整が必要です。
 これには建築の専門性のみならず、都市計画やまちづくりに関する知識、
 多様な意見をまとめるファシリテート能力などが求められます。
 これらの技能を持つ建築をベースとしたまちづくり専門家。

[教育実践の広がり]

専門学校 8校 + 2大学 (教材使用)

日本工学院専門学校・新潟工科専門学校・麻生建築&デザイン専門学校、東海工業専門学校金山校
・修成建設専門学校・静岡産業技術専門学校、岡山理科大学専門学校・読売理工福祉専門学校

教材使用 立命館大学・名古屋女子大学

令和3-4年 文化庁文化遺産国際協力拠点交流事業

カイロ旧市街保存まちづくり

東海工業専門学校金山校
(愛知県名古屋市)

教材提供
名古屋女子大学
(愛知県名古屋市)

教材提供
立命館大学
(京都府京都市)

岡山理科大学専門学校
(岡山県岡山市)

麻生建築&
デザイン専門学校
(福岡県博多区)

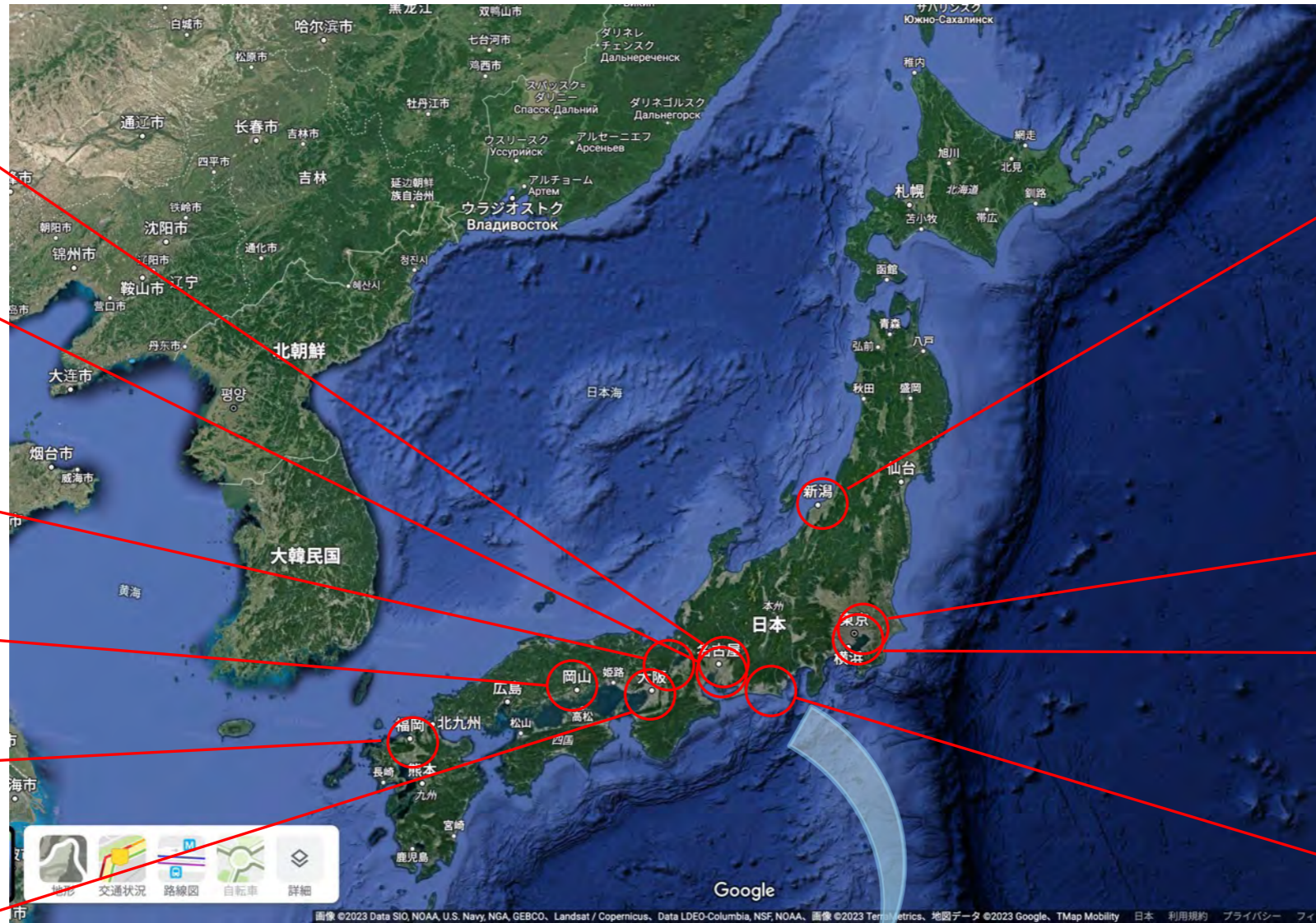
修成建設専門学校
(大阪府大阪市)

新潟工科専門学校
(新潟県新潟市)

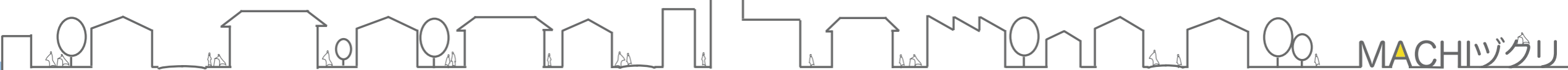
読売理工福祉専門学校
(東京都文京区)
サマーセミナー形式
学び直し

日本工学院専門学校
(東京都大田区)

静岡産業技術専門学校
(静岡県静岡市)



令和3-4年 文化庁文化遺産国際協力拠点交流事業
カイロ旧市街保存まちづくり



[修了者 一覧]

4年間で講座に参加した学生383名 修了者289名

※文化庁文化遺産国際協力拠点事業 修了者含む

川上 慧、木村 優花、倉田 俊輔、佐野 晴香、重野 舞佑、島田 拓実、杉浦 萌、高橋 明日香、多田野 怜良、仲川 璃歩、浜 健太、平野 智哉、山崎 麗那、小豆野 葉子、鶴田 佳織、黒田 華、久保田 結恵、加茂 彩音、外本 大宜、中牟田 理稀、重岡 遥稀、富 光太郎、松井 理恵、矢野 翔太郎、岡澤 栞太、張 麗紅、藤代 大地、山崎 雄大、山本 渉、和田 涼、石井 優輝、吉森 瑠、荻原 里緒、酒井 怜一、相川 奈緒子、遠藤 大介、青木 登来、中村 凧沙、岡村 準也、保科 玄樹、島原 健一、畑 慶紀、臼見 渉、鈴木 亜門、岡田 秀太、荒谷 健、上田 瑞己、藤田 諒、中上 慎太郎、福原 悠生、柳生 将太、今泉 伎琳、榎本 寿直、妻本 晃尚、田中 雄太、中根 悠太、小磯 侑也、中村 直哉、宮澤 勇輝、小瀨 瑞基、中井 美佐子、田中 涼介、豊福 遥菜、泉 尚希、井上 優羽、遠藤 太陽、川口 真優、黒田 萌々香、田籠 由樹、手嶋 仁志、永田 竜義、新納 悠加、伴 拓海、平岡 樹弥、弘中 花音、松本 幸輝、矢野 真澄、矢野 未沙、吉田 太雅、吉田 穂花、LIU SHIYUN、倉茂 拓斗、佐藤 春佑、佐藤 妃南、渋谷 紀樹、鈴木 悠ノ介、田辺 一真、土屋 颯洋、坪野 真梨萌、中村 謙吾、橋詰 仁美、宮澤 幸仁、村山 有利人、雨宮 隆介、三歩一 功季、飯野 雄太、今久保 潤、馬籠 幹、小野寺 将起、清水 亨聖、畑 慶紀、西郷 真理、島田 樹、前田 光耶、高橋 優輔、神山 綾香、茅野 拳丈、根橋 成弥、長井 勇貴、栗原 菜永美、角田 竜海、北澤 孝太郎、三重野 魁、大石 滉介、松井 海栄、佐々木 龍斗、寺山 ことみ、林 稜斗、今井 成望、斉藤 直斗、佐々木 直哉、守武 純也、櫻井 琴音、夏目 慈晏、徐 正東、福元 里莉奈、本永 一真、迫 菜摘、藤井 泰希、山北 充基、井浦 人和、榎 恵梨花、黒河 優翔、椎原 奈々美、井上 和真、大野 直孝、桑原 彪、佐々木 駿、佐藤 魁都、中島 眞弥、長谷川 斗和希、堀井 優、前山 颯太、石沢 友康、永野 亜月、関根 壘、中村 瑠一、樋口 大輝、増間 優介、松田 冴空、横山 弘汰、佐藤 倭、熊谷 凌寿、不破 雄大、山田 竣平、鈴木 陽太、荒井 大輝、大槻 弥々、安達 郁也、林 貫太、深谷 龍希、須藤 駿太郎、井山 慶政、中里 慧太、雨宮 亮輔、尾木 浩、大島 璃久、横山 小次郎、神谷 駿介、箕田 一心、奈良岡 拓磨、齋藤 佑樹、城田 豪、藤崎 優聖、川瀬 大樹、齋藤 大地、野田 佳祐、加藤 大地、浅野 開、小林 春輝、宮腰 剣、渡邊 玲音、蒲谷 明斗、菊地 悠月、星 優平、森 太一、森 泰高、保科 樹希、小川 永遠、高橋 佳、高橋 伶佳、大城 すず、岩田 翔海樹、XIAO ZIYI、三村 梨理香、坂本 拓夢、阿形 祐輝、安東 拓登、石川 響己、海野 光翔、大石 龍、太田良 安佳理、岡村 海翔、押本 裕真、柿平 大和、加藤 紗己、熊谷 和真、小林 あやめ、杉本 幸翼、杉山 夢佳、鈴木 聖河、清 晴輝、寺尾 泰輝、伴野 匠、長野 佑輝、奈良間 大斗、西村 翔、西山 貫士、花村 勇二郎、福士 歩武、伏見 和真、増田 フィリップ、松本 斗輝、望月 蒼空、望月 楓生、望月 祐汰、山本 照人、吉田 茉穂、渡邊 流翔、安藤 颯馬、小澤 京、橋本 岬、永井 琢巳、石神 亜希、福沢 あみ、播摩 千亜、松浦 拓瑠、海江田 わかな、中里 玲々奈、沼田 貫助、御手洗 翔、馬場 海里、中田 ひかり、芳村 昌也、江崎 真奈、金子 綱嗣郎、島崎 美羽、井口 緒美、池尾 駿希、高月 駿、森澤 涼、辻 穂乃花、桑原 仁成、佐藤 遼汰、鮫島 玲偉、新田 智大、窪田 実、前本 悠雅、和田栗 巧也、植木 駿、岩井 健一。林 亮子、村上 達政、山崎 友美、落合 正人、丸山 善子、中澤 賢紀、三島 彬裕、小野 貴義、吉岡 俊知、児玉 勝斗、芝江 郷子、内川 雄生、越田 由都、佃 充浩、藤代 雅史、

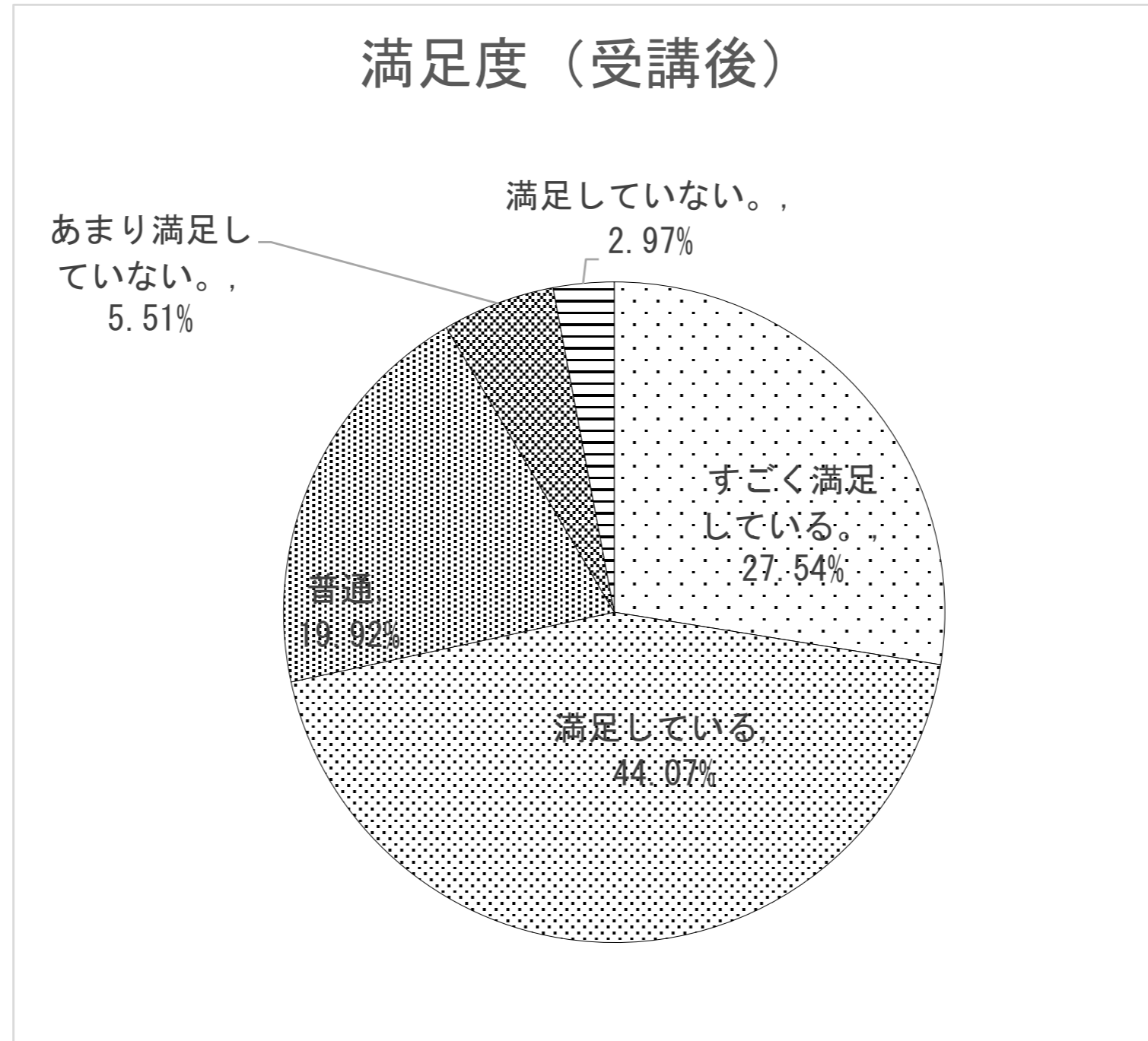
令和3-4年 文化庁文化遺産国際協力拠点交流事業 カイロ旧市街保存まちづくり/住民参加のまちづくり 修了者

Akatsuki TAKAHASHI、ALAA ELDIN ELHABASHI、Amr Abd Elkarim El-Sayed Ahmed、Sabrin Ali、Sara Fayed Asmaa Mohamed Mohamed Mohamed Elkafrawy、Fatima Abd El-Wahed Hasan、Hajar Taariq Sayed Abdullah、Mariam Ahmed Thamarat、Omnia sherif Mahmoud Salem、Raghda Nasr El-Nezrory、Yassmen Hesham Mahmoud、



[アンケート調査結果（満足度）]

受講後、受講生全体に講座の満足度を調査

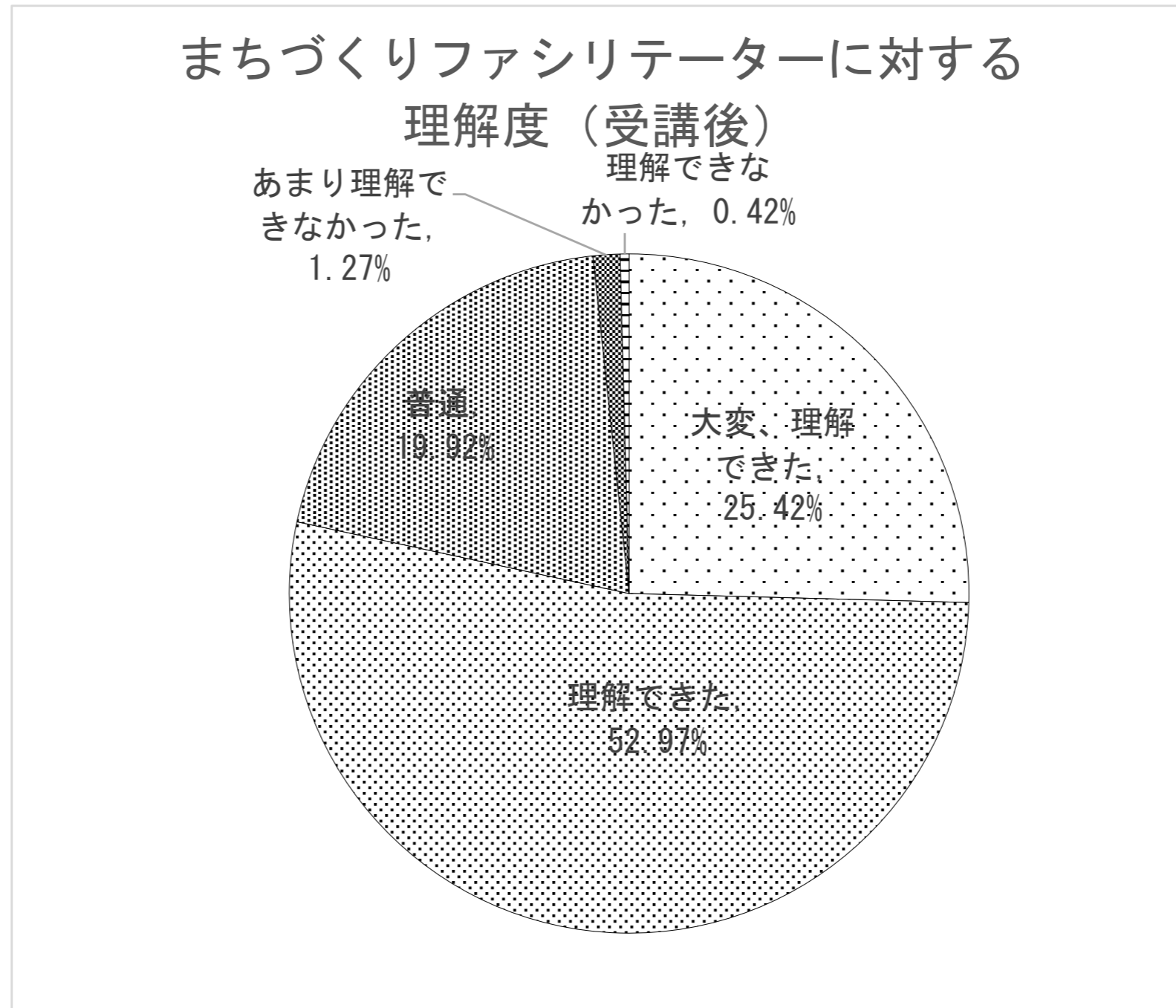


n=236



[アンケート調査結果（理解度）]

受講後、受講生全体に講座の理解度（自己評価）を調査

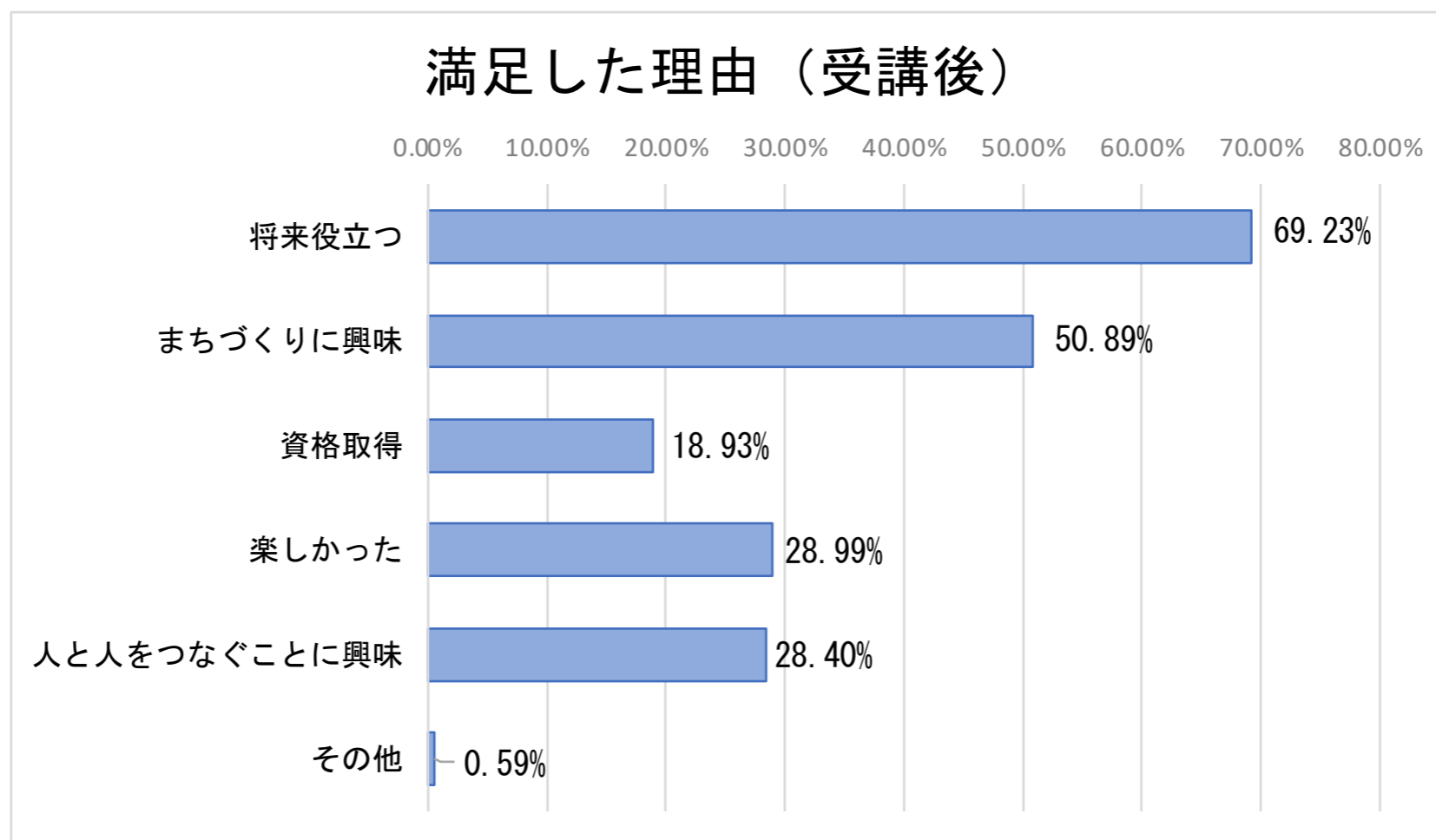


n=236

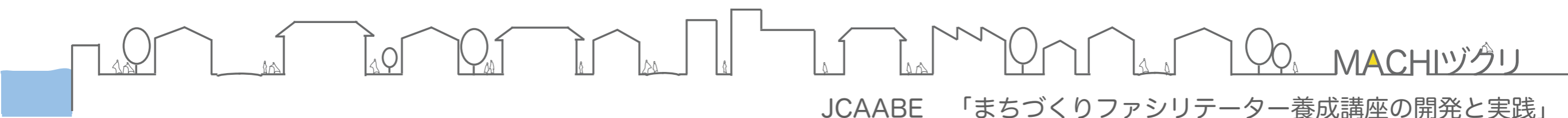


[アンケート調査結果（満足した理由）]

満足層を対象にした満足した理由

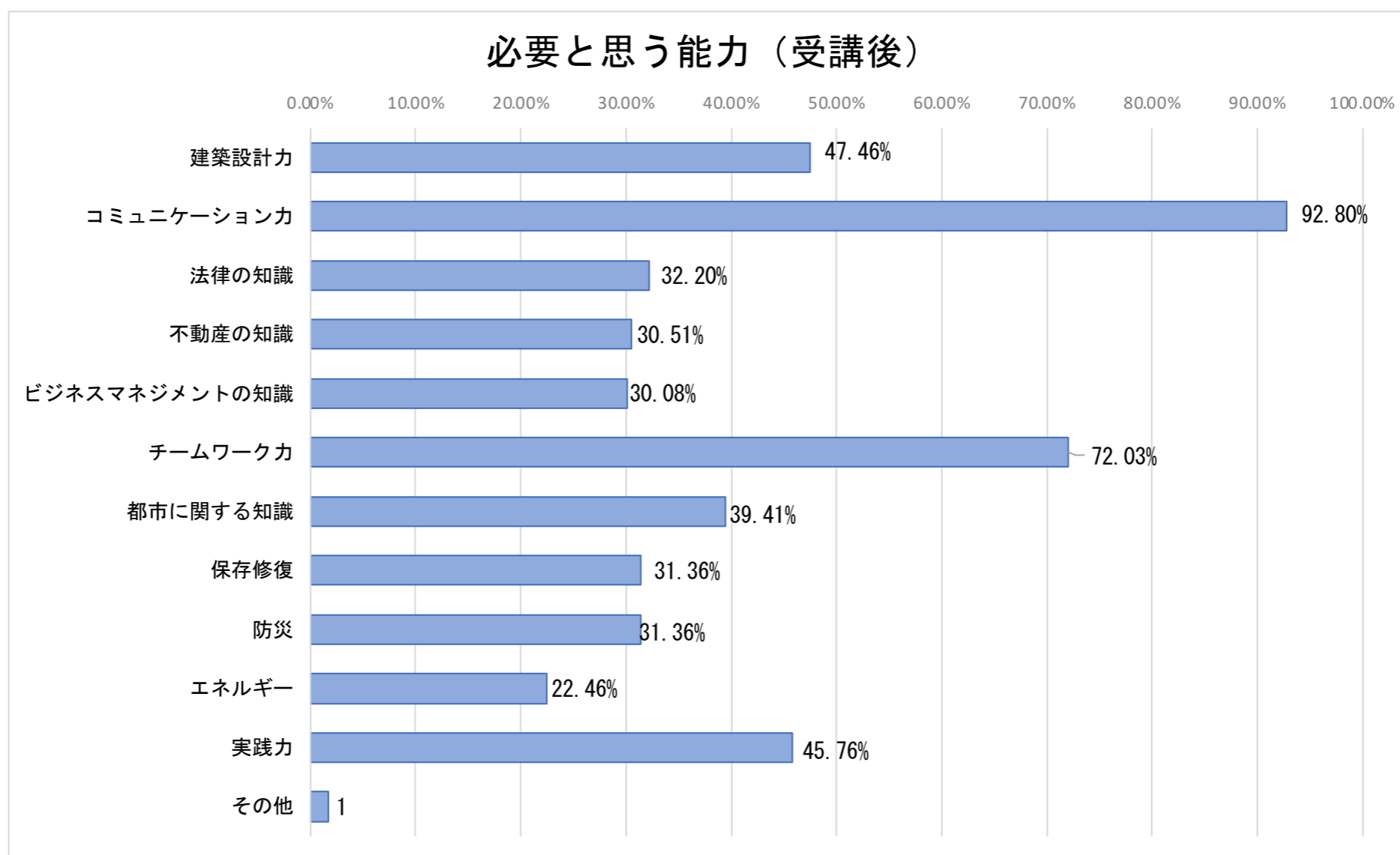


n=169



[アンケート調査結果（必要と思う能力）受講後]

受講後、受講生全体にまちづくりファシリテーターに必要なと思う能力を調査



n=236

[社会人のキャリアアップ機会の提供]

2021年からオンライン講座を開催。また、2023年夏には社会人も多く参加するサマーセミナーを短期講習で開催。社会人のキャリアアップと学び直しの機会としても展開をみせている。



[令和3-4年 文化庁文化遺産国際協力拠点交流事業 カイロ旧市街保存まちづくり/住民参加のまちづくり]

2021から2年間、文化庁文化遺産国際協力拠点交流事業「カイロ旧市街保存まちづくり/住民参加のまちづくり」をJCAABEが実施。世界遺産であるカイロ旧市街地を保存・活用していく人材育成を目的に本講座を元にして住民・市民と協働するファシリテーター講座を実施。世界へと広がっていく可能性を秘めている。

URL動画参照 <https://jcaabe.org/page-2377/>

